

2026年 3 月期第 2 四半期（中間期） 決算説明会

2025年11月28日



株式会社ユアテック

（東証プライム市場：1934）

0 1	2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要	_____	P. 2 – 14
0 2	業績の予想および推移	_____	P. 15 – 22
0 3	株主還元	_____	P. 23 – 26
0 4	「中期経営計画（2024－2028）」	_____	P. 27 – 45
0 5	ご参考	_____	P. 46 – 54

01 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

(1) 決算ハイライト [連結]

- 売上高は、配電線工事および屋内配線工事が増加したことなどにより増収
- 利益は、売上高の増加および工事採算性の向上により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに増益

(単位：百万円)	2025年3月期 2Q（累計）		2026年3月期 2Q（累計）		前年同期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
売上高	111,046	—	118,793	—	+ 7,747	+ 7.0%
売上総利益	14,503	13.1%	17,291	14.6%	+ 2,788	+ 19.2%
営業利益	3,518	3.2%	5,888	5.0%	+ 2,370	+ 67.4%
経常利益	4,345	3.9%	5,470	4.6%	+ 1,125	+ 25.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,905	2.6%	3,227	2.7%	+ 321	+ 11.1%

(2) 売上高の増減要因 [連結]

■ 配電線工事および屋内配線工事が増加したことなどにより売上高が**増加**

連結売上高 前期比の増減内訳

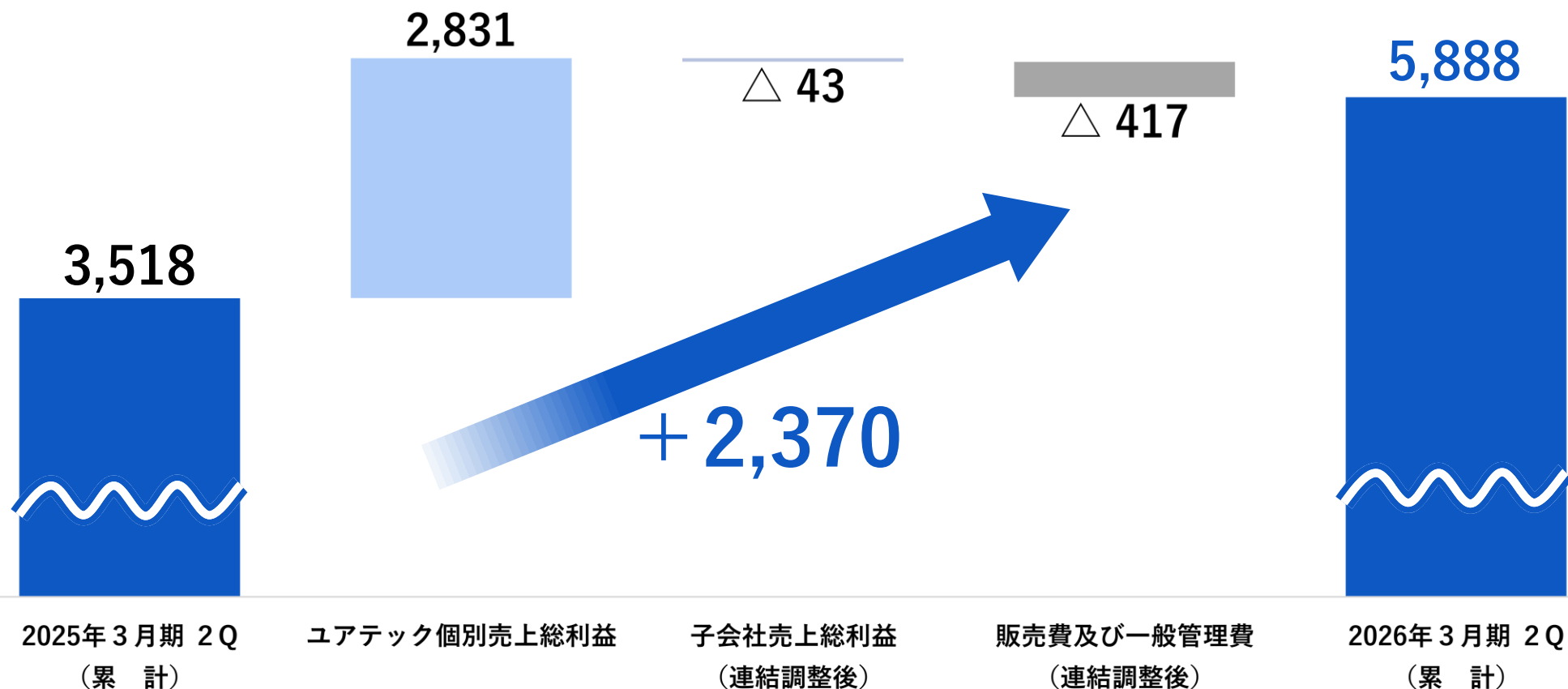


(3) 営業利益の増減要因 [連結]

- ユアテック個別売上総利益は、売上高の増加および工事採算性の向上により増加
- 販売費及び一般管理費は、人的投資に係る費用などにより増加

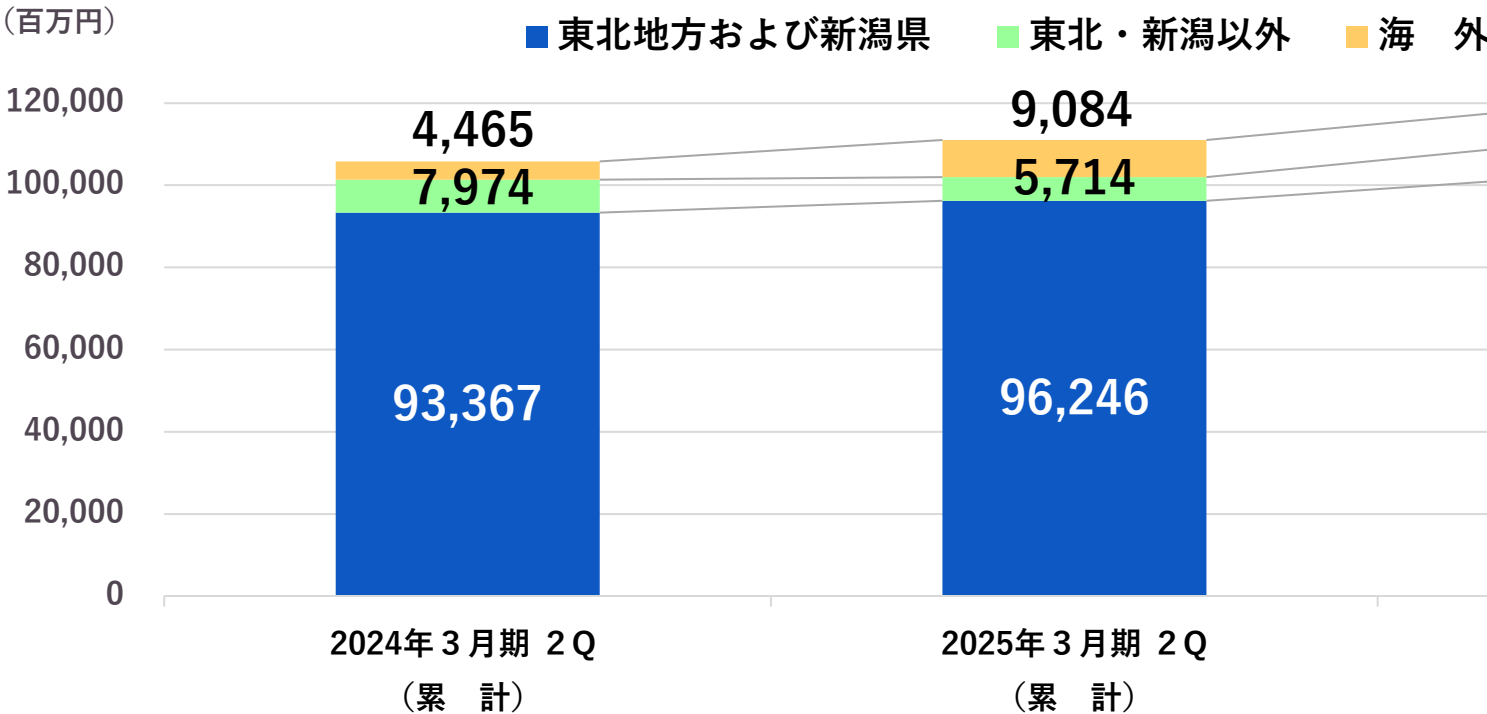
連結営業利益 前年同期比の増減内訳

(単位：百万円)



(4) 地域別売上高の推移 [連結]

売上高



(単位：百万円)	2024年 3 月期 2 Q	2025年 3 月期 2 Q	2026年 3 月期 2 Q	前年同期比	
	実 績 (累計)	実 績 (累計)	実 績 (累計)	増減額	増減率
東北地方および新潟県	93,367	96,246	101,918	+ 5,671	+ 5.9%
東北・新潟以外	7,974	5,714	8,177	+ 2,462	+ 43.1%
海 外	4,465	9,084	8,698	△ 386	△ 4.3%
計	105,807	111,046	118,793	+ 7,747	+ 7.0%

(注) 東北・新潟以外：東京本部、北海道・大阪支社、(株)ユアテック関東サービスの売上高合計（「東北地方および新潟県」を除く国内）
 海 外：当社施工、YURTEC VIETNAM CO.,LTD.、SIGMA ENGINEERING JSCの売上高合計

(5) 決算ハイライト [個別]

- 売上高は、配電線工事や屋内配線工事が増加したことなどにより増収
- 利益は、工事採算性の向上などにより、営業利益、経常利益、中間純利益ともに増益
- 手持工事高は、高水準で推移

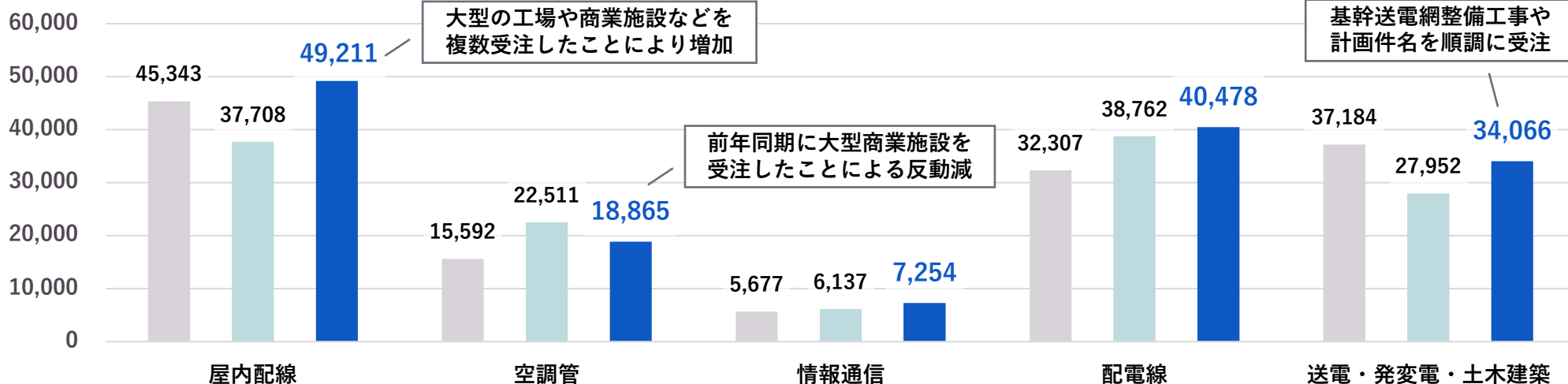
(単位：百万円)	2025年3月期 2Q (累計)		2026年3月期 2Q (累計)		前年同期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
受注工事高	133,072	—	149,875	—	+16,803	+12.6%
売上高	98,320	—	106,941	—	+8,621	+8.8%
営業利益	2,683	2.7%	5,147	4.8%	+2,463	+91.8%
経常利益	3,501	3.6%	6,383	6.0%	+2,881	+82.3%
中間純利益	2,393	2.4%	4,426	4.1%	+2,032	+84.9%
手持工事高	185,495	—	201,815	—	+16,319	+8.8%

(6) 工事別受注工事高の推移 [個別]

受注工事高

(百万円)

■ 2024年3月期 2Q ■ 2025年3月期 2Q ■ 2026年3月期 2Q

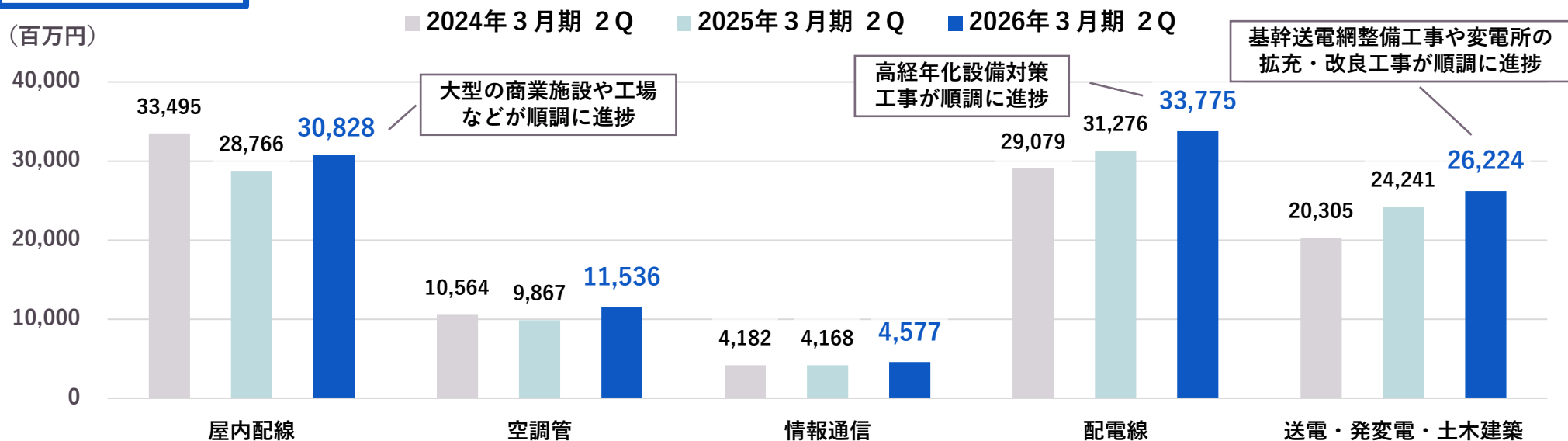


(単位：百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	45,343	37,708	49,211	+11,503	+30.5%
空調管	15,592	22,511	18,865	△3,646	△16.2%
情報通信	5,677	6,137	7,254	+1,116	+18.2%
配電線	32,307	38,762	40,478	+1,715	+4.4%
送電	9,750	7,594	9,746	+2,151	+28.3%
発電電	10,965	7,694	12,779	+5,085	+66.1%
土木建築	16,469	12,663	11,540	△1,122	△8.9%
計	136,106	133,072	149,875	+16,803	+12.6%

(7) 工事別売上高の推移 [個別]

売上高

(百万円)

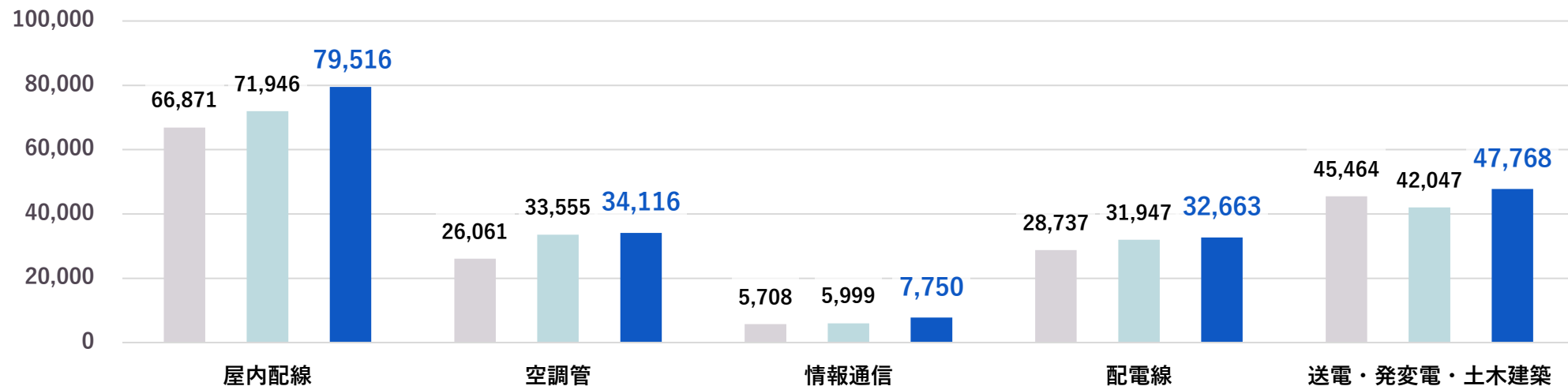


(単位：百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	33,495	28,766	30,828	+2,062	+7.2%
空調管	10,564	9,867	11,536	+1,668	+16.9%
情報通信	4,182	4,168	4,577	+408	+9.8%
配電線	29,079	31,276	33,775	+2,499	+8.0%
送電	7,786	6,777	7,173	+396	+5.9%
発電	5,717	6,683	8,528	+1,844	+27.6%
土木建築	6,801	10,780	10,522	△258	△2.4%
計	97,628	98,320	106,941	+8,621	+8.8%

(8) 工事別手持工事高の推移 [個別]

手持工事高

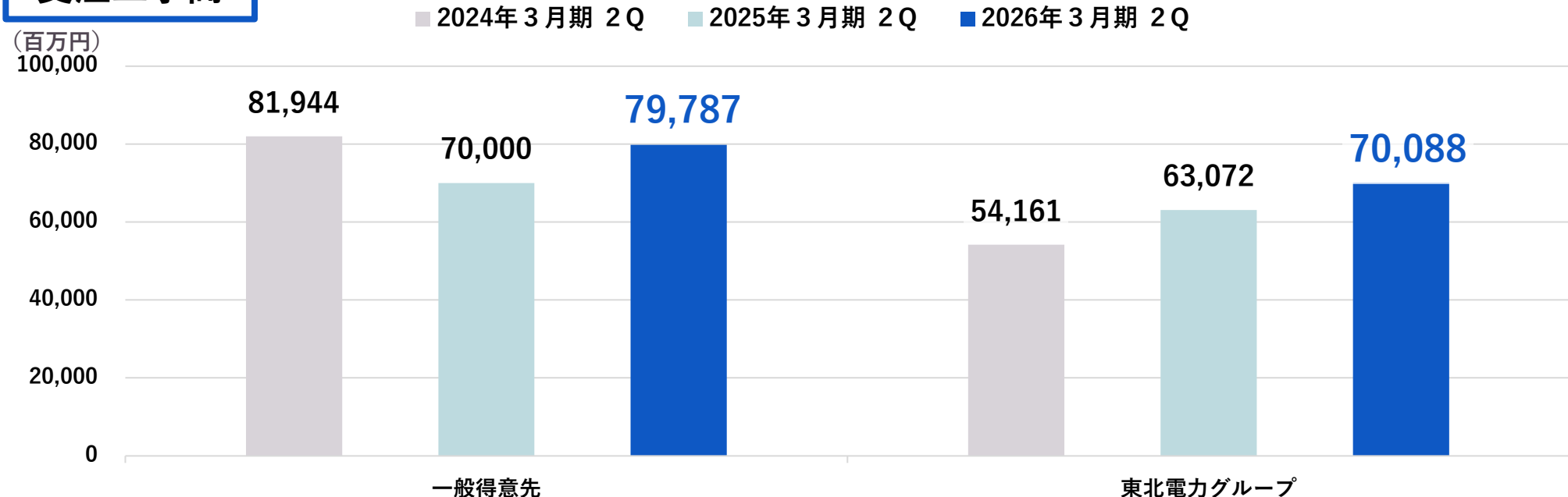
(百万円) 2024年3月期 2Q 2025年3月期 2Q 2026年3月期 2Q



(単位：百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	66,871	71,946	79,516	+7,569	+10.5%
空調管	26,061	33,555	34,116	+561	+1.7%
情報通信	5,708	5,999	7,750	+1,751	+29.2%
配電線	28,737	31,947	32,663	+716	+2.2%
送 電	11,355	9,007	13,624	+4,617	+51.3%
発電電	17,355	16,514	20,818	+4,303	+26.1%
土木建築	16,752	16,525	13,326	△3,199	△19.4%
計	172,843	185,495	201,815	+16,319	+8.8%

(9) 得意先別受注工事高の推移 [個別]

受注工事高



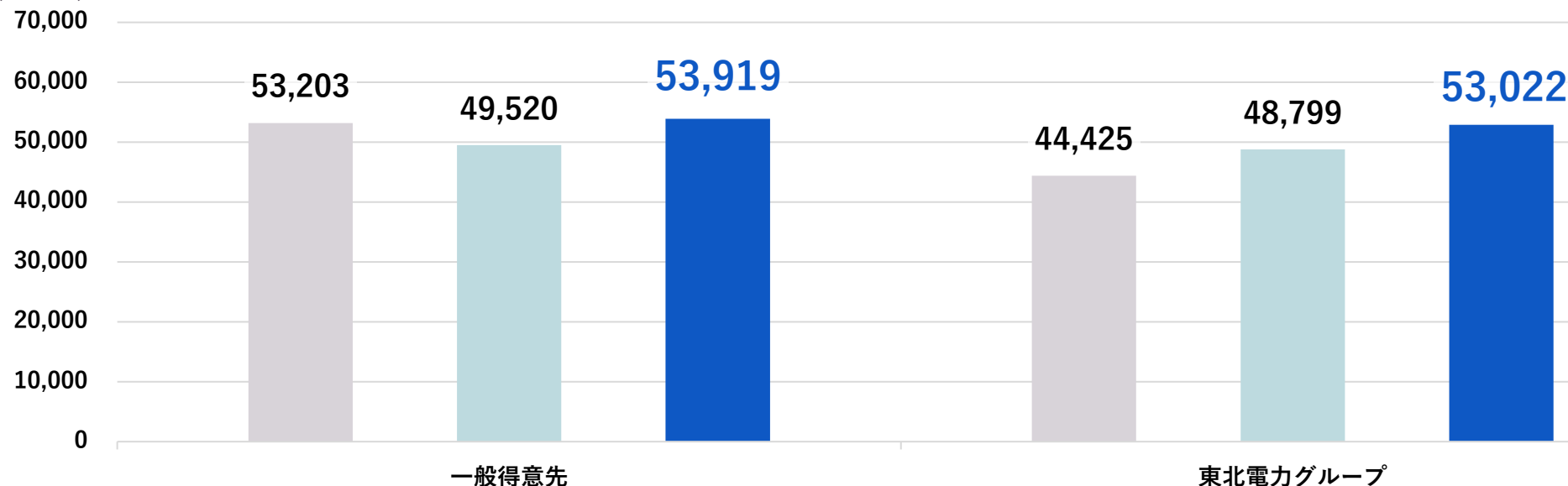
(単位：百万円)	2024年 3 月期 2 Q		2025年 3 月期 2 Q		2026年 3 月期 2 Q		前年同期比（実績）	
	実 績	構成比	実 績	構成比	実 績	構成比	増減額	増減率
一般得意先	81,944	60.2%	70,000	52.6%	79,787	53.2%	+ 9,787	+ 14.0%
東北電力グループ	54,161	39.8%	63,072	47.4%	70,088	46.8%	+ 7,015	+ 11.1%
計	136,106	100.0%	133,072	100.0%	149,875	100.0%	+ 16,803	+ 12.6%

(10) 得意先別売上高の推移 [個別]

売上高

(百万円)

■ 2024年3月期 2Q ■ 2025年3月期 2Q ■ 2026年3月期 2Q



(単位：百万円)	2024年3月期 2Q		2025年3月期 2Q		2026年3月期 2Q		前年同期比（実績）	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
一般得意先	53,203	54.5%	49,520	50.4%	53,919	50.4%	+ 4,399	+ 8.9%
東北電力グループ	44,425	45.5%	48,799	49.6%	53,022	49.6%	+ 4,222	+ 8.7%
計	97,628	100.0%	98,320	100.0%	106,941	100.0%	+ 8,621	+ 8.8%

(11) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2025年 3 月期	2026年 3 月期 2 Q	増減額
資産の部			
流動資産合計	154,335	139,216	△15,118
現金預金	33,770	35,295	+1,525
受取手形・完成工事未収入金等	89,471	77,849	△11,622
電子記録債権	6,445	4,606	△1,838
有価証券	16,190	10,692	△5,498
未成工事支出金	1,066	2,542	+1,476
材料貯蔵品	2,356	2,507	+151
その他	6,074	6,662	+588
貸倒引当金	△1,038	△939	+99
固定資産合計	79,218	79,577	+358
有形固定資産	49,067	49,521	+453
のれん	2,915	2,409	△506
無形固定資産（その他）	3,791	3,636	△155
投資その他の資産（その他）	23,653	24,217	+564
貸倒引当金	△210	△208	+1
資産合計	233,554	218,794	△14,760

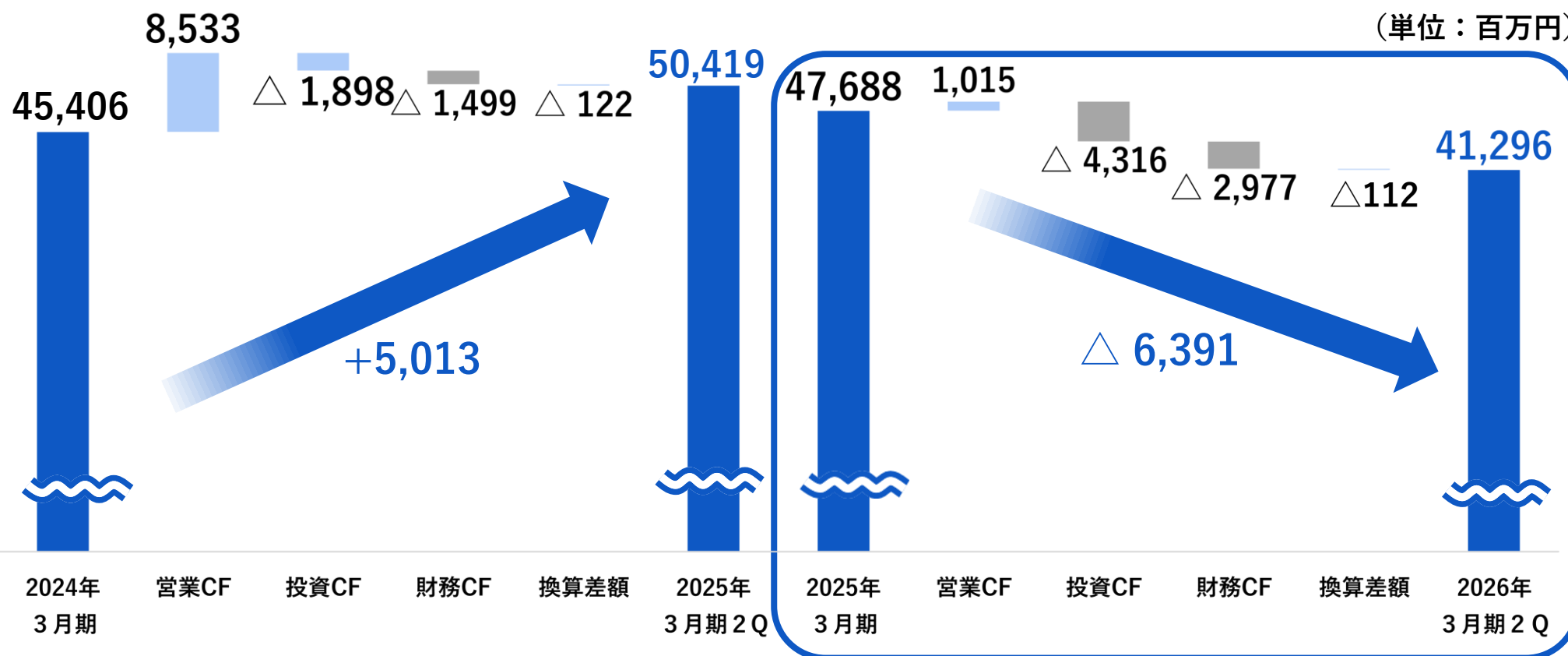
科 目	2025年 3 月期	2026年 3 月期 2 Q	増減額
負債の部			
流動負債合計	64,954	49,354	△15,600
支払手形・工事未払金等	35,298	27,659	△7,639
電子記録債務	9,924	7,448	△2,475
短期借入金	3,536	3,307	△228
未払法人税等	4,962	2,478	△2,483
工事損失引当金	379	394	+14
役員賞与引当金	81	—	△81
その他	10,773	8,065	△2,707
固定負債合計	20,885	21,696	+810
負債合計	85,840	71,050	△14,790
純資産の部			
資本金	7,803	7,803	—
資本剰余金	7,849	7,892	+42
利益剰余金	128,136	128,289	+153
自己株式	△281	△267	+14
その他有価証券評価差額金	784	1,228	+443
土地再評価差額金	△2,255	△2,270	△15
為替換算調整勘定	1,258	872	△386
退職給付に係る調整累計額	4,353	4,128	△224
非支配株主持分	63	66	+2
純資産合計	147,713	147,743	+29
負債純資産合計	233,554	218,794	△14,760

(12) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業CFは、売上債権の回収が仕入債務の支払を上回ったことなどにより、1,015百万円の資金を獲得
- 投資CFは、定期預金の預入などにより、4,316百万円の資金を使用
- 財務CFは、配当金の支払などにより、2,977百万円の資金を使用

現金及び現金同等物 中間期末残高の推移

(単位：百万円)



02 業績の予想および推移

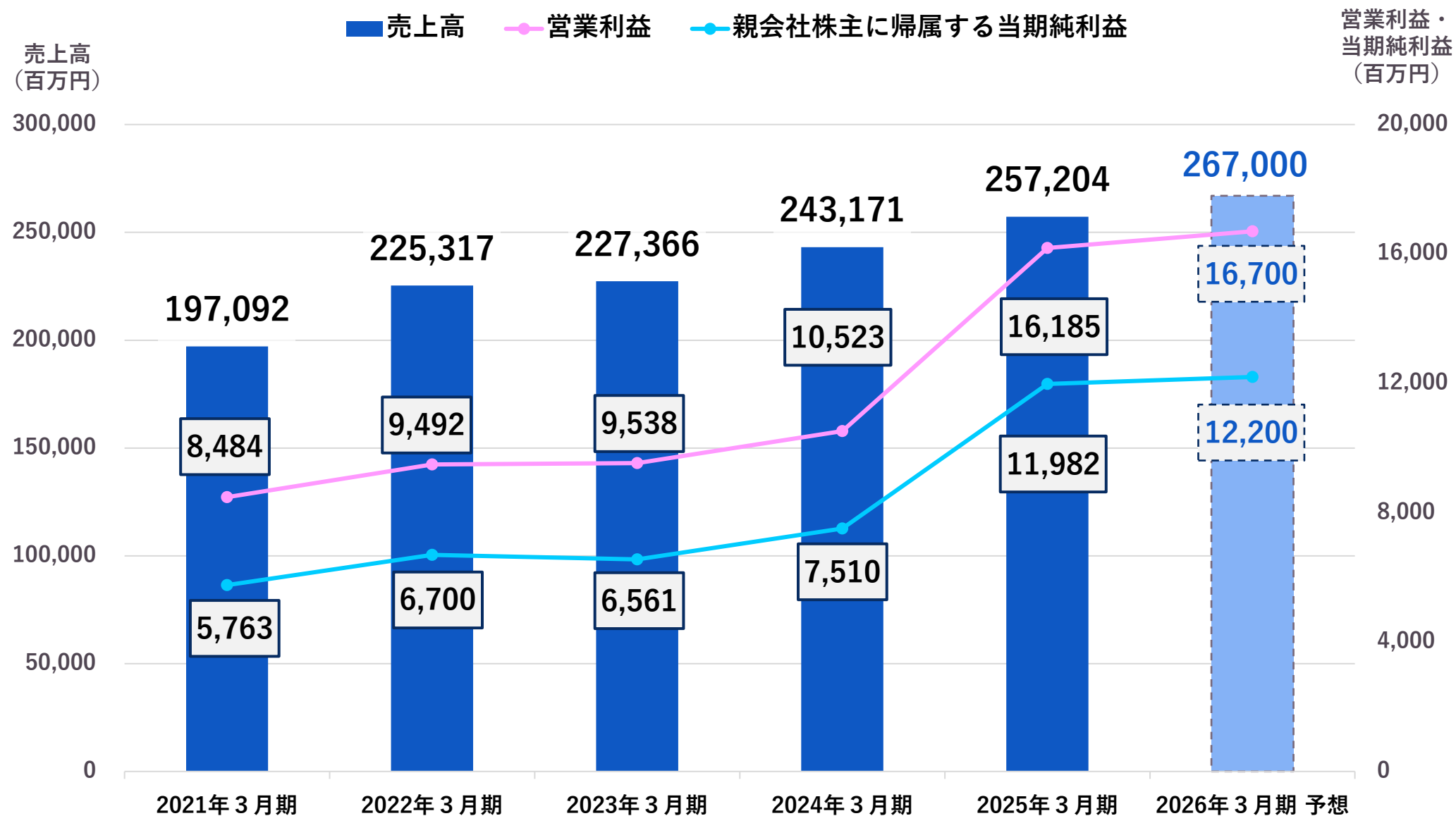
(1) 2026年3月期 通期業績予想

■ 中期経営計画（2024－2028）に基づく5つの基本戦略・主要施策のもと、グループ一丸となった施策展開により**増収・増益**を予想

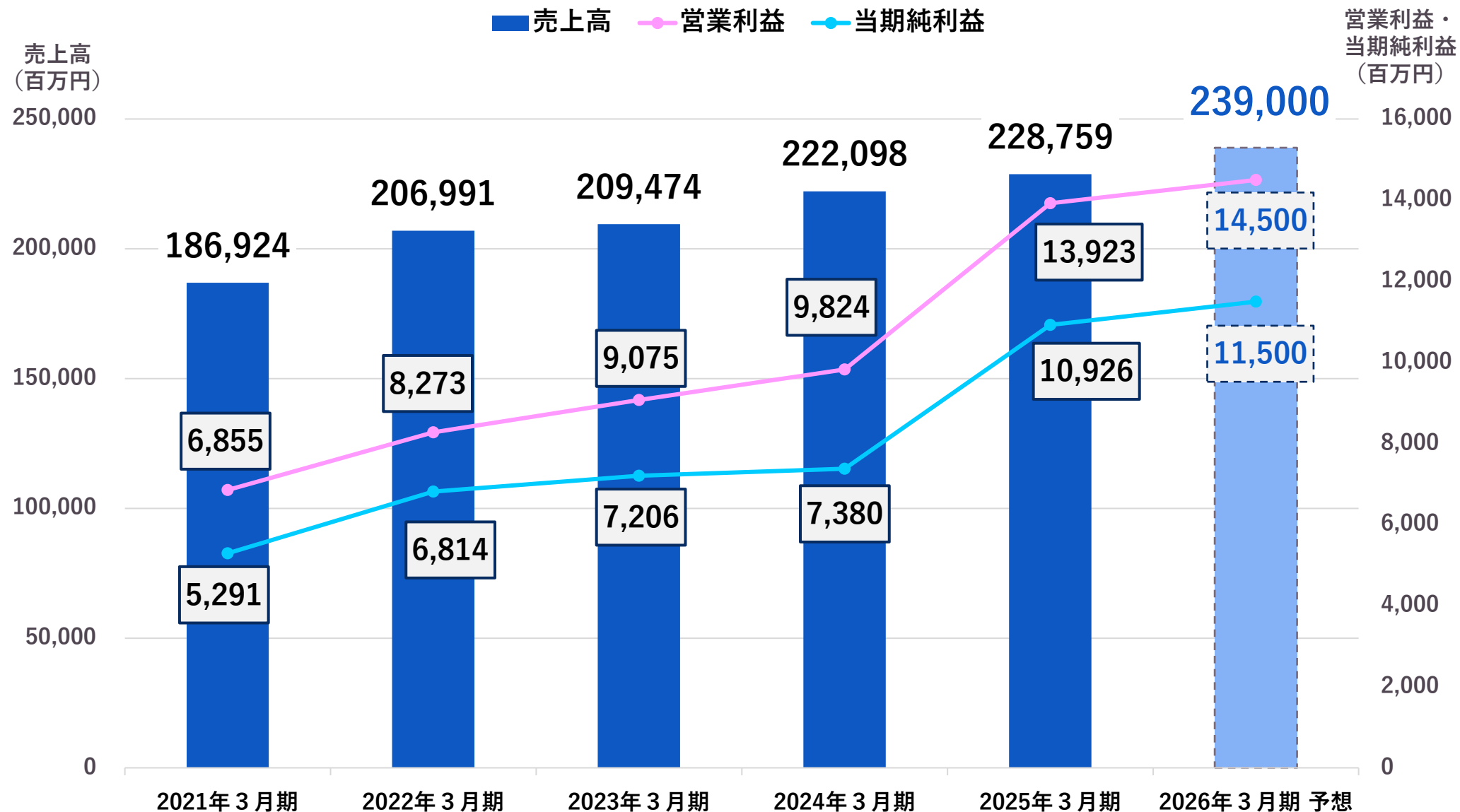
連 結 (単位：百万円)	2025年3月期 実績		2026年3月期 予想		前期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
売上高	257,204	—	267,000	—	+9,795	+3.8%
営業利益	16,185	6.3%	16,700	6.3%	+514	+3.2%
経常利益	17,302	6.7%	17,500	6.6%	+197	+1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,982	4.7%	12,200	4.6%	+217	+1.8%

個 別 (単位：百万円)	2025年3月期 実績		2026年3月期 予想		前期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
受注工事高	236,898	—	244,000	—	+7,101	+3.0%
売上高	228,759	—	239,000	—	+10,240	+4.5%
営業利益	13,923	6.1%	14,500	6.1%	+576	+4.1%
経常利益	15,310	6.7%	16,000	6.7%	+689	+4.5%
当期純利益	10,926	4.8%	11,500	4.8%	+573	+5.2%

(2) 業績の推移および予想 [連結]



(3) 業績の推移および予想 [個別]



(4) 工事別売上高の推移および予想 [個別]

売上高

合計値

■ 屋内配線

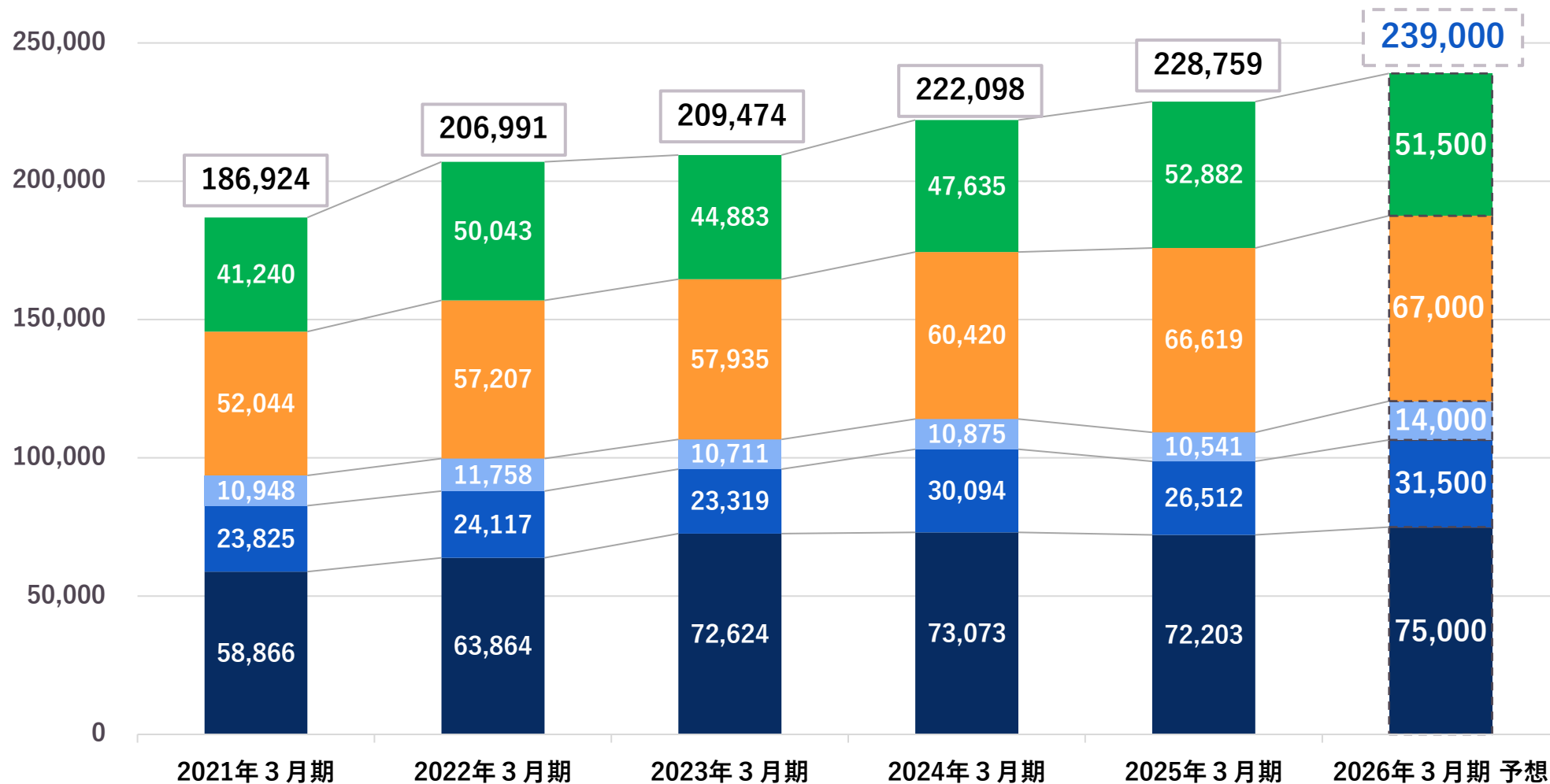
■ 空調管

■ 情報通信

■ 配電線

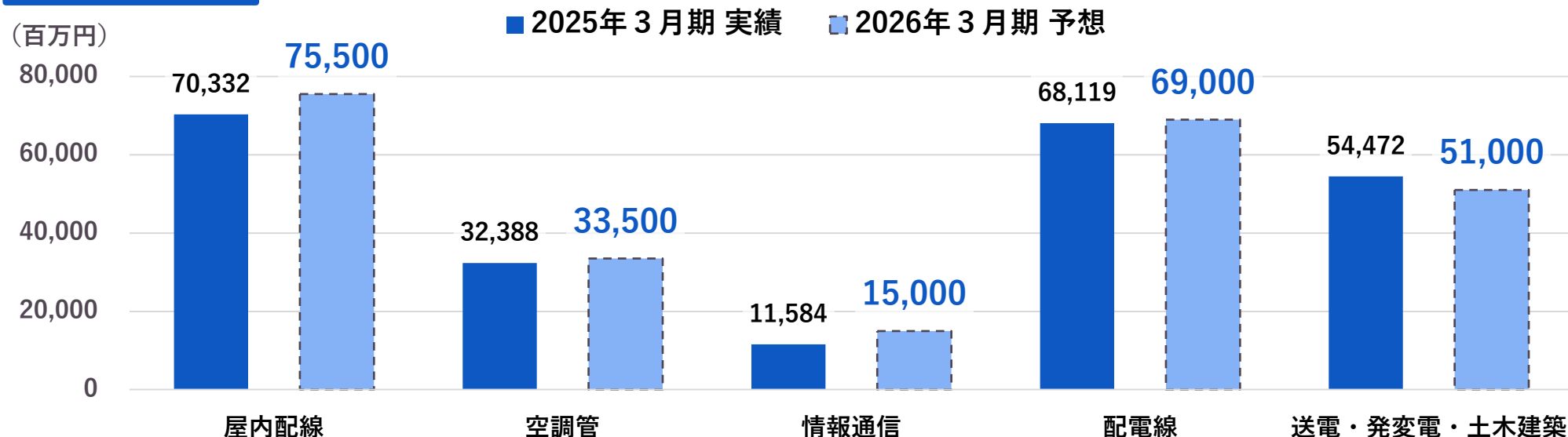
■ 送電・発電・土木建築

(百万円)



(5) 工事別受注工事高 予想 [個別]

受注工事高



(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
屋内配線	70,332	75,500	+5,167	+7.3%
空調管	32,388	33,500	+1,111	+3.4%
情報通信	11,584	15,000	+3,415	+29.5%
配電線	68,119	69,000	+880	+1.3%
送電	18,392	17,000	△1,392	△7.6%
発電	15,132	15,000	△132	△0.9%
土木建築	20,947	19,000	△1,947	△9.3%
計	236,898	244,000	+7,101	+3.0%

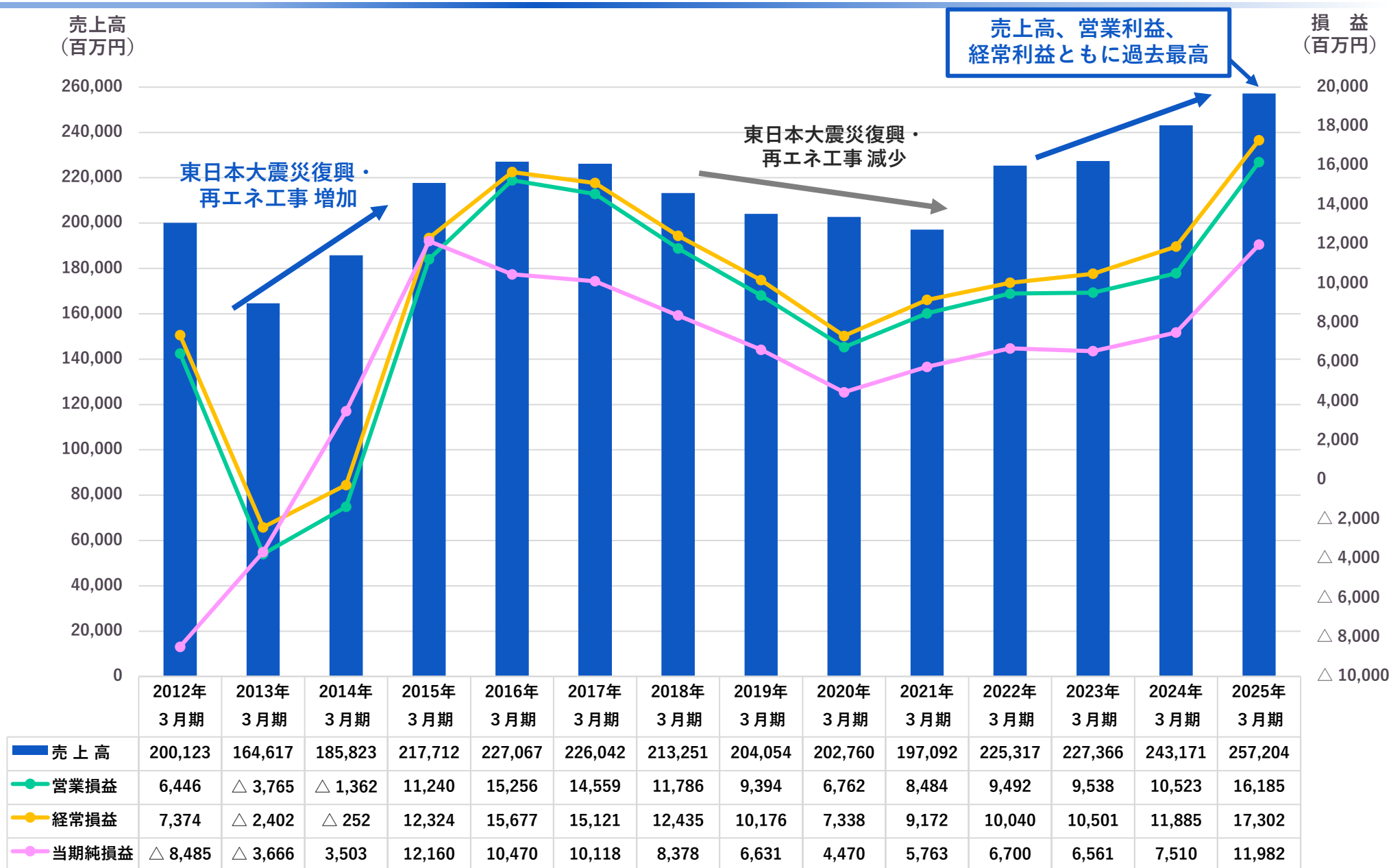
(6) 工事別売上高 予想 [個別]

売上高



(単位：百万円)	2025年 3 月期	2026年 3 月期	前期比	
	実 績	予 想	増減額	増減率
屋内配線	72,203	75,000	+2,796	+3.9%
空調管	26,512	31,500	+4,987	+18.8%
情報通信	10,541	14,000	+3,458	+32.8%
配電線	66,619	67,000	+380	+0.6%
送 電	15,530	16,000	+469	+3.0%
発電電	14,068	14,000	△68	△0.5%
土木建築	23,283	21,500	△1,783	△7.7%
計	228,759	239,000	+10,240	+4.5%

(参考) 連結業績の推移

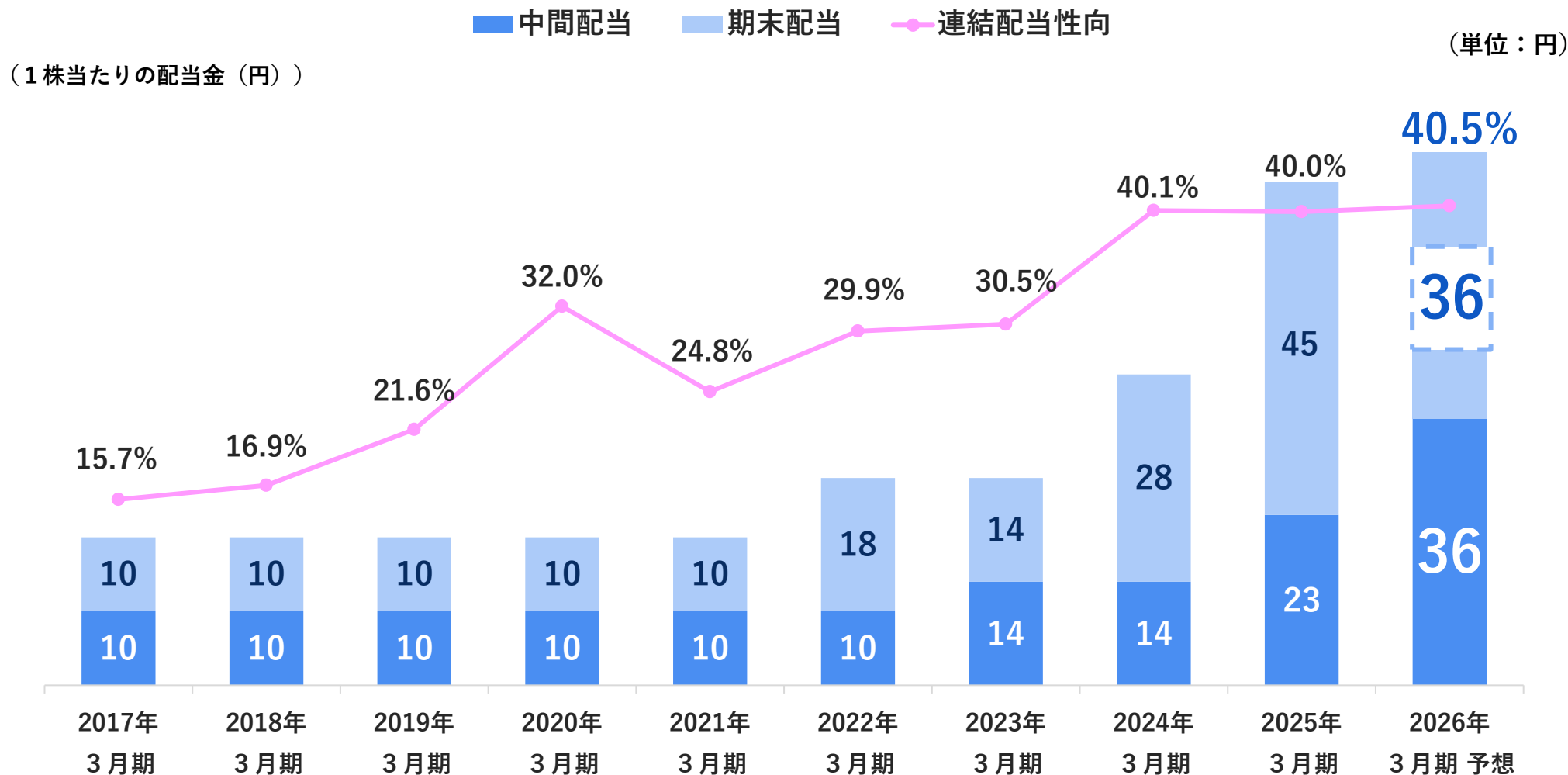


03 株主還元

(1) 配当金の推移

配当方針 (2024年4月25日公表)

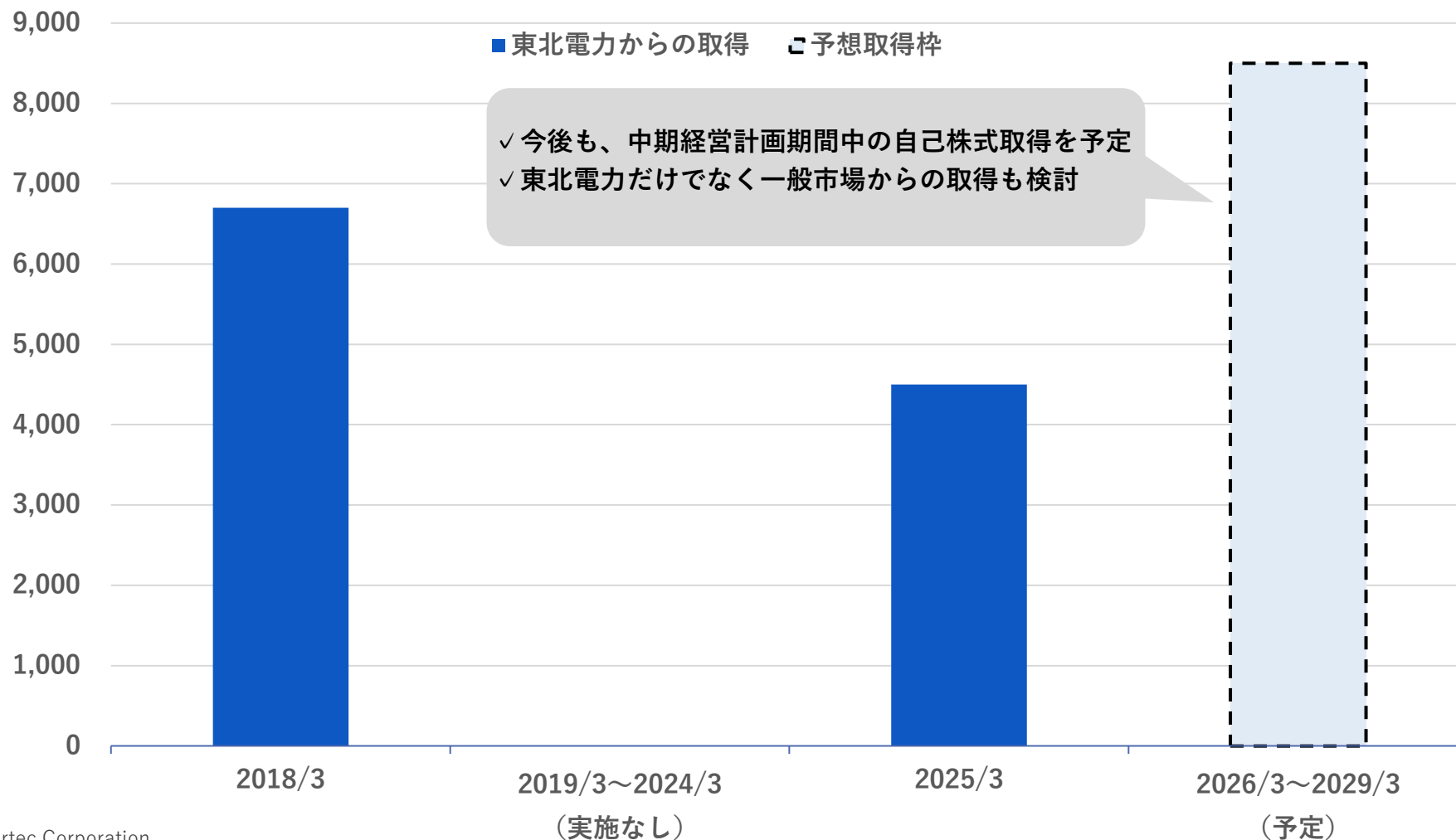
当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要な施策として位置付けております。
将来に向けた事業展開・成長投資を考慮しながら、業績に応じ**連結配当性向40%以上**を安定的に利益還元することを基本方針としております。



(2) 自己株式の取得

- 2024年10月に公表した「キャピタル・アロケーション」に基づき、中期経営計画（2024-2028）の期間内における総還元性向50～60%を想定
- 安定配当に加え、バリュエーションや財務状況に応じて、適宜、自己株式の取得を実施予定

(百万円)

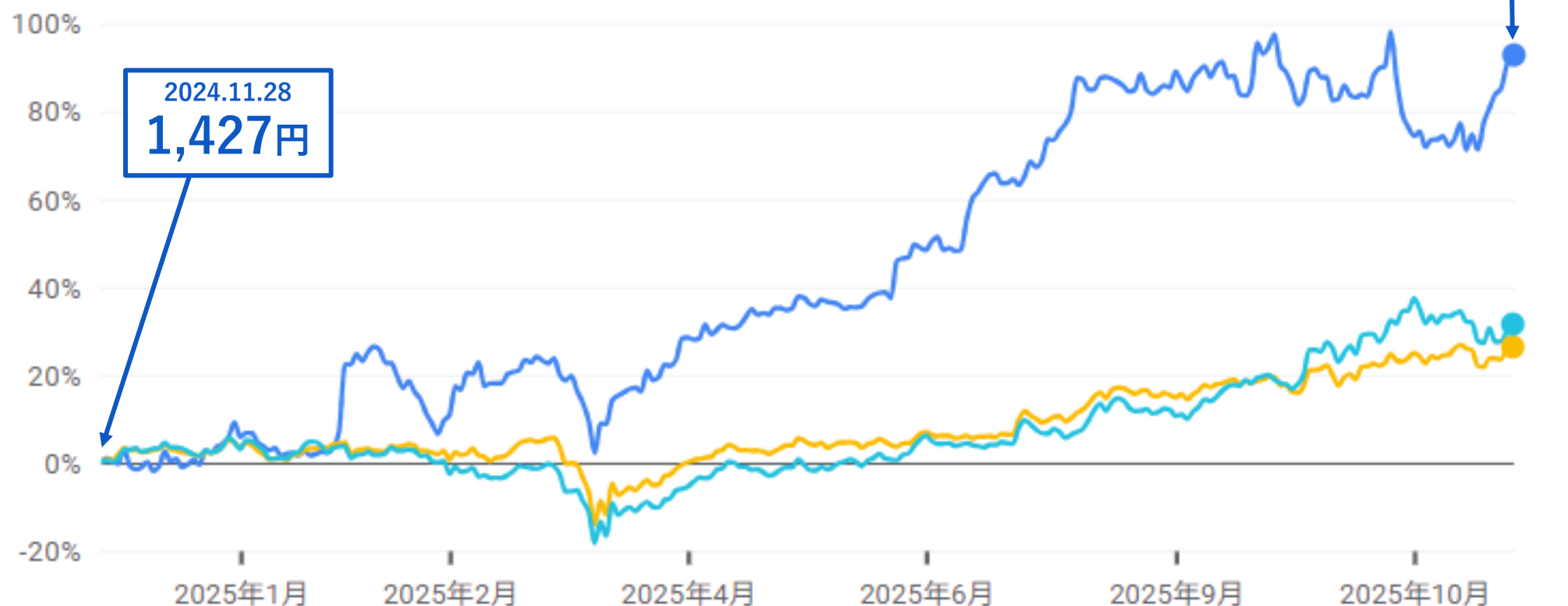


(参考) 株価の推移

■ 直近1年間で約93%の上昇率を記録

⇒ 堅調な業績を背景に日経平均株価、TOPIXの上昇率を大幅に上回る

当社株価 —
日経平均株価 —
TOPIX —

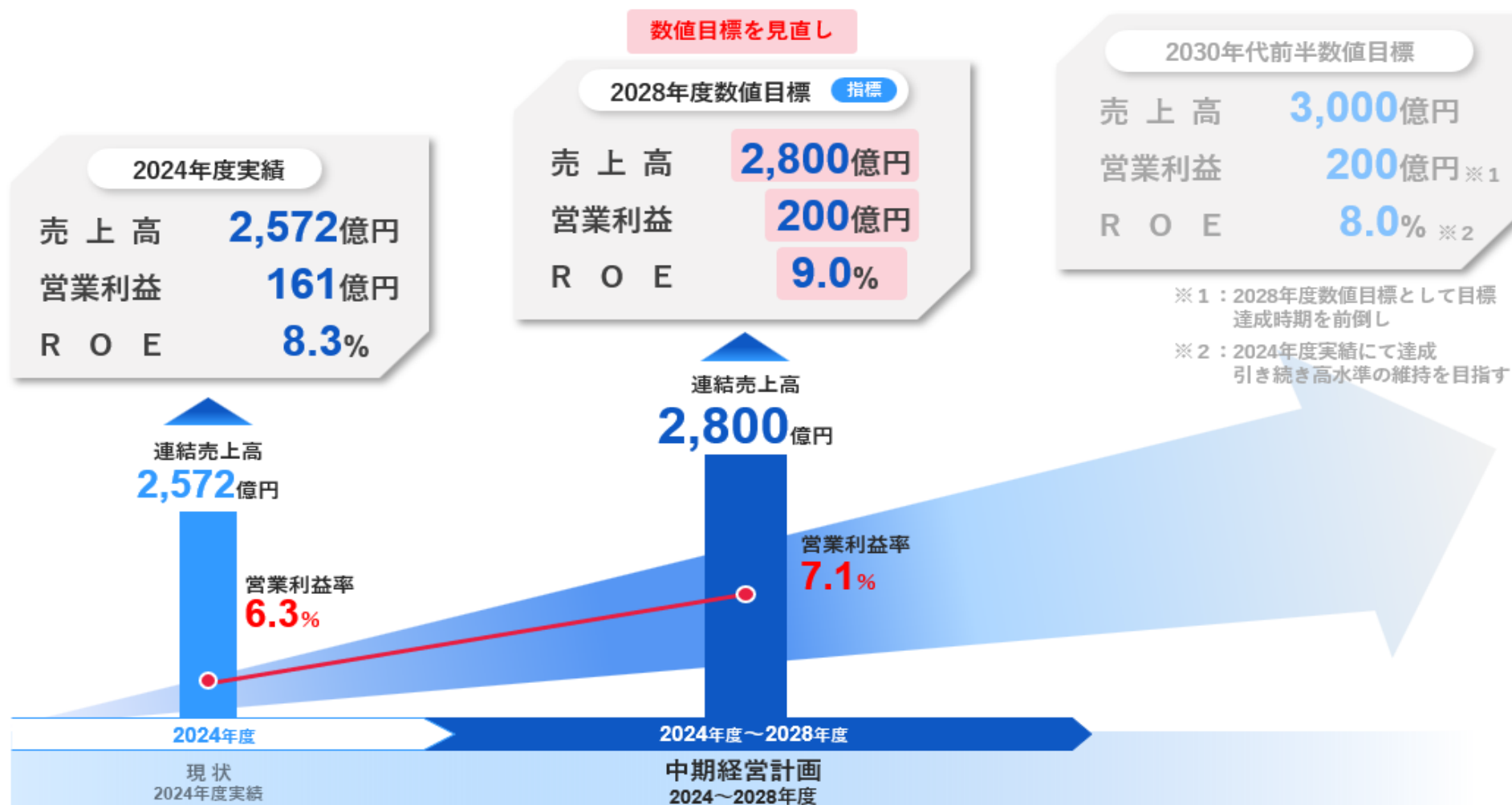


04 中期経営計画（2024-2028）

※ 2025年10月29日 見直しを公表

(1) 中期経営計画（数値目標）の見直し

- 数値目標の一部（営業利益、ROE）を達成したことから、一層の収益拡大に向けて、数値目標の見直しを実施
- 引き続き、収益拡大に向けて既存事業のさらなる深化と成長分野への取り組みを加速



(2) 収益性の向上

■ 事業ポートフォリオに基づく「既存事業の深化」と「成長分野への取り組み加速」

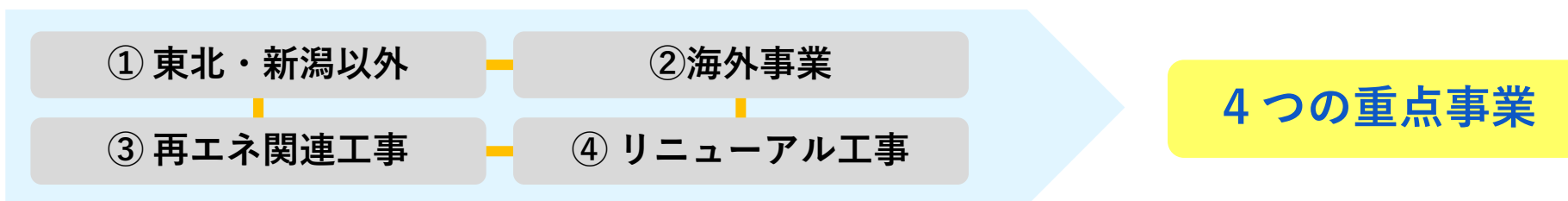
- ✓ 既存事業：リニューアル工事の受注拡大、施工体制の拡充・強化による収益確保
- ✓ 成長分野：再エネ関連工事、ベトナム国を中心とした海外事業の拡大、
将来を見据えた東北・新潟以外の戦略的エリア展開

事業ポートフォリオ (1/2)

市場（エリア）	海外	海外インフラ工事の受注拡大（ODA案件等）	ベトナム国を起点とした海外事業の拡大（ミャンマー・バングラデシュ+1、東南・南アジア中心）	海外工事の受注拡大（洋上風力等）	今後、新たに取り組んでいく事業分野	
		隣接エリアへの段階的な進出	関東圏を中心とした体制強化・収益拡大	北海道へのエリア拡大	移動体・機器据付、ネットワーク構築工事等の受注拡大	新規事業への挑戦 ● 不動産事業 ● PFI 事業 ● 蓄電池関連事業 等
	東北・新潟以外	施工体制の拡充・強化による収益確保	施工体制の拡充・強化による収益確保 リニューアル工事受注拡大	施工体制の拡充・強化による収益確保（大型風力、太陽光等）	移動体・機器据付、ネットワーク構築工事等の受注拡大	
		東北・新潟				
	配電・送変電工事		屋内配線・空調管工事		再エネ関連工事	
	情報通信工事		新規事業領域			
事業分野						

(2) 収益性の向上

■ 東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として、4つの重点事業を設定



事業ポートフォリオ (2/2)

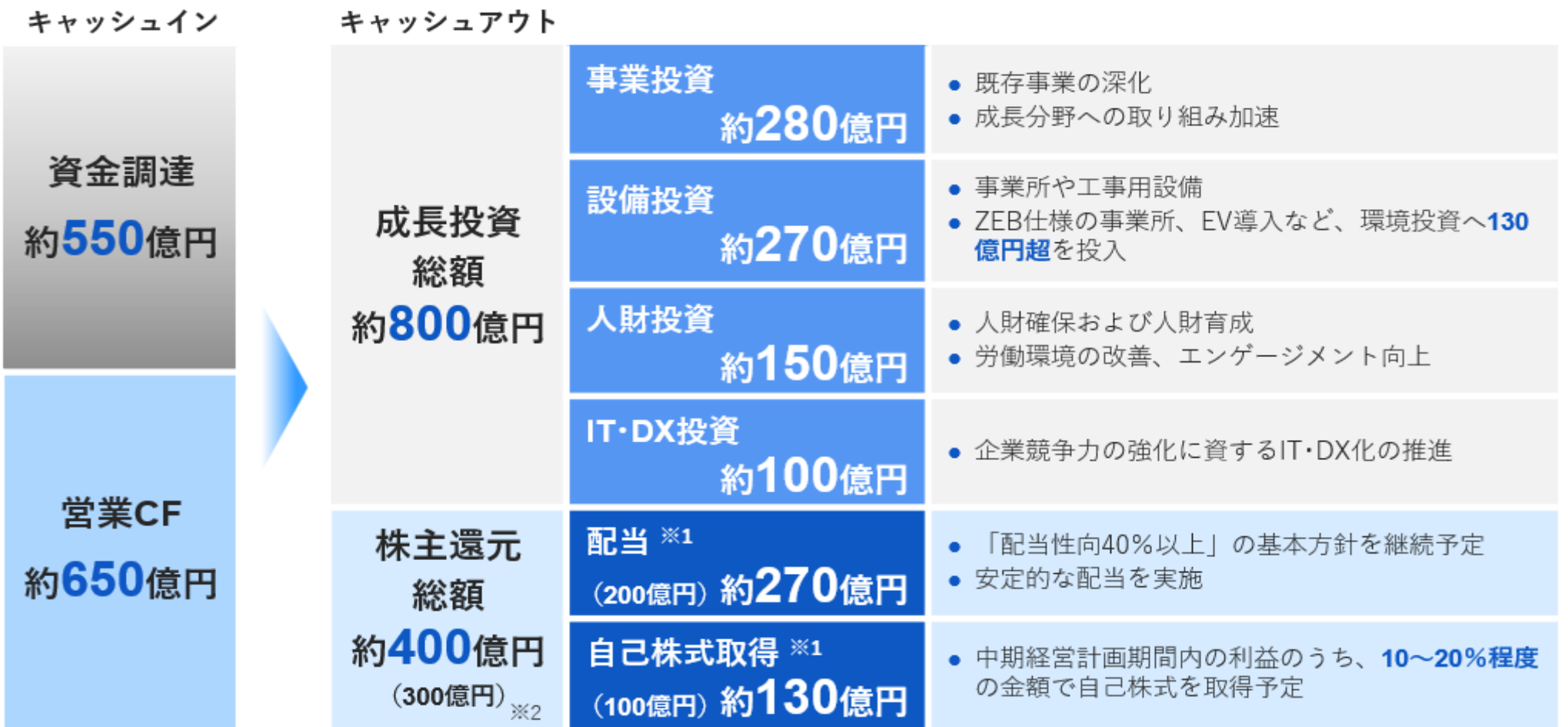
	事業分析結果		概 要	2024年度 実績 (売上高)
	2022年度実績 (売上高)	2028年度計画 成長性(売上高)		
東北・新潟	1,925億円	2,161億円	創業以来の事業エリアである東北・新潟での競争力をさらに高めて事業基盤を強化する	2,108億円
① 東北・新潟以外	167億円	288億円	これまで注力してきた関東圏を中心に東北・新潟以外のエリアへの事業拡大をはかる	179億円
② 海外事業	89億円	293億円	ベトナム国を起点とした事業拡大および社会インフラ整備事業を通じたODA案件等の受注拡大をはかる	172億円
③ 再エネ関連工事	148億円	112億円	コスト高騰や規制強化に伴う許認可の遅れ等により、洋上・陸上風力発電事業による成長は時間を要すると見込むが、再エネ関連工事の将来性は依然高く、蓄積したノウハウと地理的競争優位性を活かした事業拡大を目指す	109億円
④ リニューアル工事	345億円	428億円	従来のリニューアル営業に加え、(自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとに)お客さまへの省エネ・ZEB化推進の提案によりさらなる受注拡大をはかる	355億円

※「東北・新潟」および「①東北・新潟以外」は「③再エネ関連工事」および「④リニューアル工事」と重複がある。「②海外事業」はグループ会社分を含む。

(3) 経営資源の適切な配分

- キャッシュの活用と積極的な成長投資・株主還元強化
- 中期経営計画期間内における総還元性向は、50～60%を想定

キャピタル・アロケーション（中期経営計画（2024-2028）期間内）

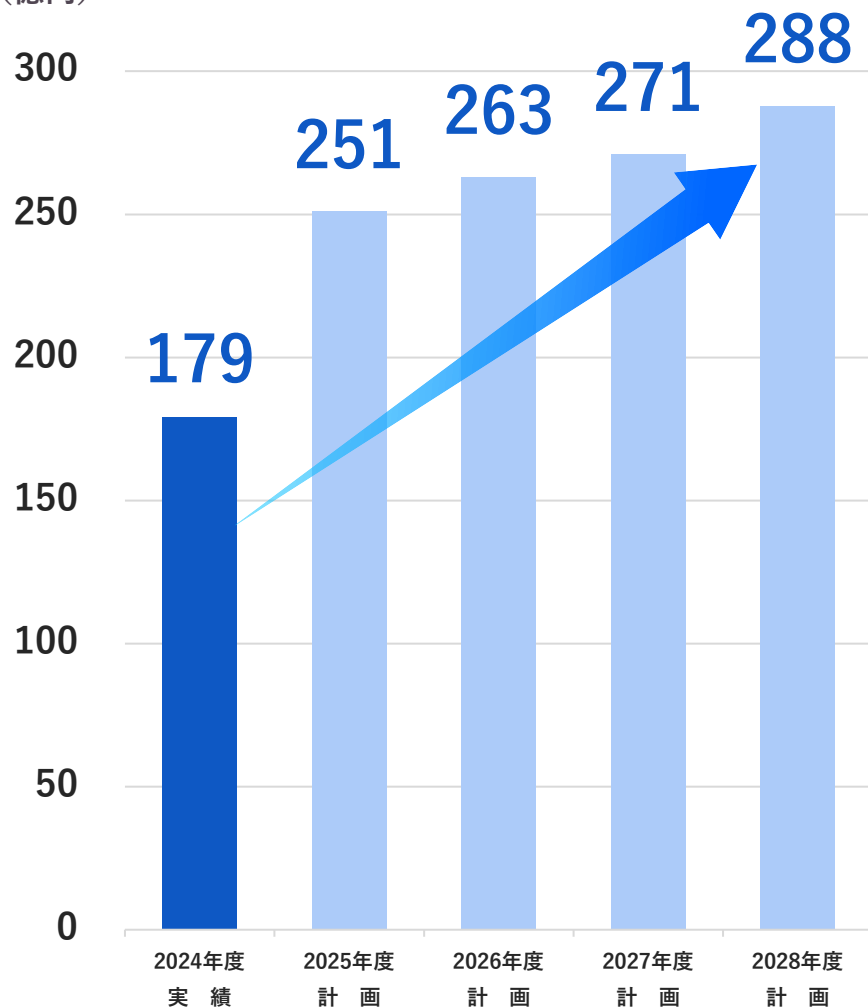


※1. 記載している金額は、2025年9月末現在での当社試算値であり、今後の業績によって増減する可能性があります。

※2. 上記表における括弧内には、2024年10月公表時の金額を記載しております。

東北・新潟以外の売上計画

(億円)

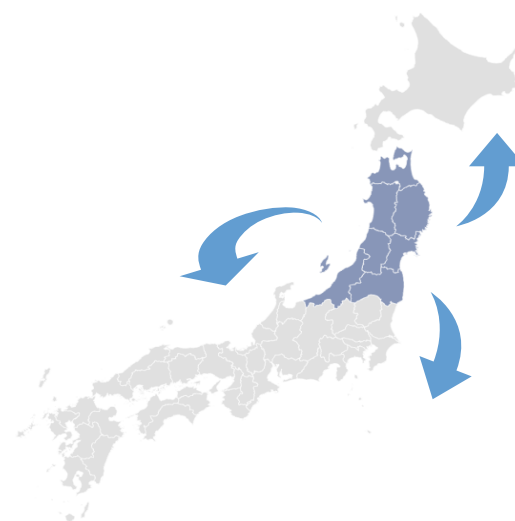


■ 建設需要が旺盛な関東圏

- ✓ 首都圏の大規模再開発需要の取り込み
- ✓ 成長分野であるデータセンターや地域熱供給工事の受注拡大



東北・新潟以外における
建設需要の
取り込みをはかる



屋内配線工事



大手町フィナンシャルシティ
グランキューブ (東京都)



屋内配線工事



the ARGYLE aoyama (東京都)



空調管工事



MFLPプロロジスパーク川越 (埼玉県)



屋内配線工事

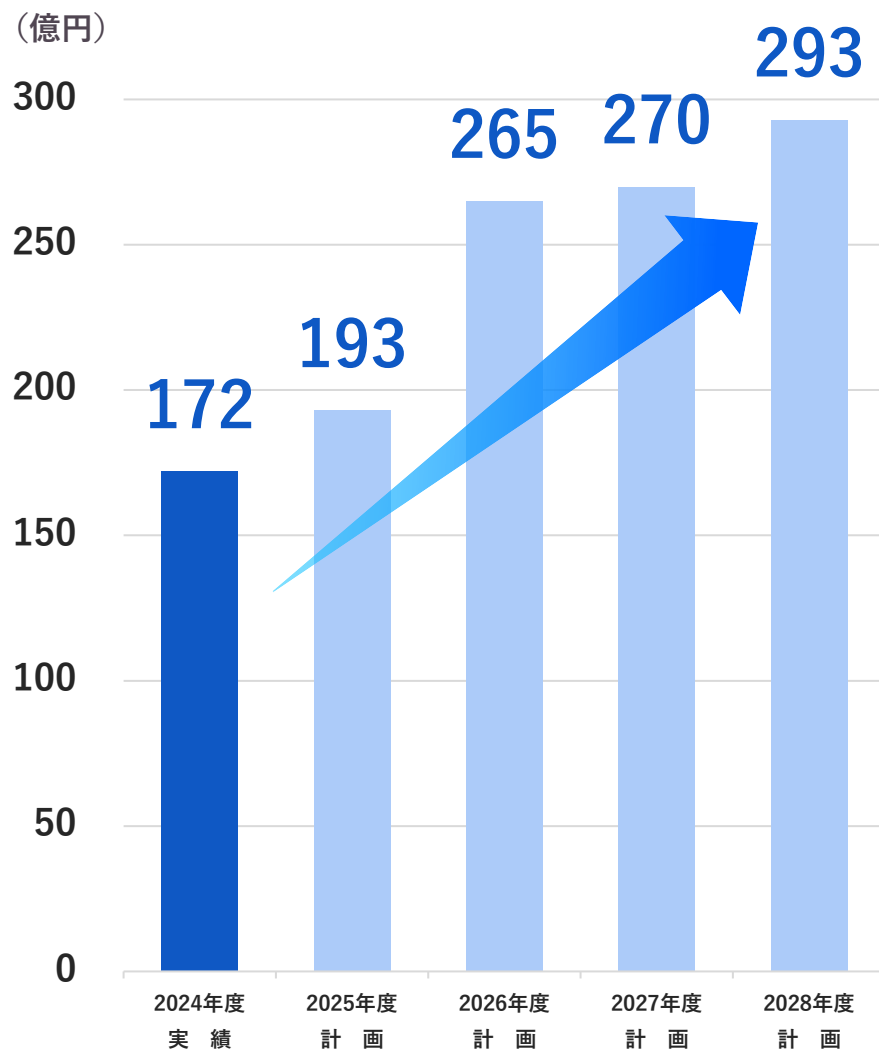


ゆめが丘ソラトス (神奈川県)



海外の売上計画

※「海外事業」はグループ会社を含む



■ ベトナム国を起点とした海外事業の拡大

- ✓ 連結子会社シグマ社を中心に事業を展開
- ✓ 大型ホテル・複合ビルの屋内配線・空調管工事
- ✓ 洋上風力等の再エネ関連工事の受注拡大

■ ODA案件の受注拡大

- ✓ 送配電網整備工事などを通じた東南アジア・アフリカなどへのODA案件の受注拡大に取り組む

当社の受注拡大に加え、
持続可能な社会の形成にも貢献



ケニア共和国におけるODA案件の様子

(5) 海外事業

■ 海外の再生可能エネルギー関連事業において大型案件を2件受注

ODA有償資金 協力 案件「ハルガダ太陽光発電設備整備事業」

実施場所	エジプト・アラブ共和国 ハルガダ
発注者	再生可能エネルギー庁 (NREA)
請負者	コンソーシアムリーダー(株)ユアテックコンソーシアムパートナー Solar Installer EPC 社、 Redcon Construction 社
発注額	7,500百万円
工期	2025年11月～2027年3月



エジプト国の紅海沿いハルガダ市に位置するウインドファーム内における太陽光発電設備の整備

Wind power plant no 7 – phase 2 Project (ソクチャン7 洋上風力発電所 2期工事)

実施場所	ベトナム国 ソクチャン省
発注者	ST2 Energy Joint Stock Company
請負者	SIGMA Engineering Joint Stock Company (当社グループ会社)
発注額	1,256bilVND (7,425百万円※) ※ベトナム通貨での発注となりますので、現時点での円換算額
工期	2025年11月～2026年12月



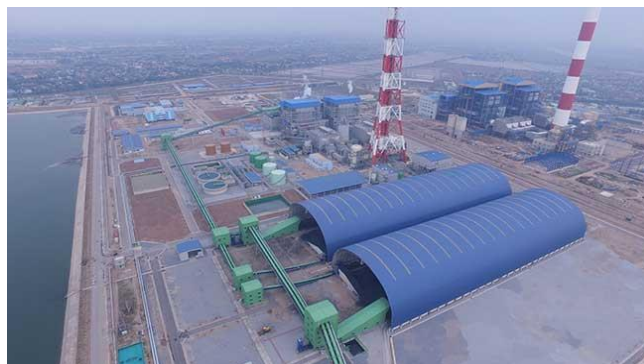
ベトナム沿岸の近海に19基の風力発電機を設置する風力発電所の建設

ユアテックベトナム施工

ホテル・ニッコー・ハイフォン
ロイジェント・パークス・ハイフォン
(ベトナム国 ハイフォン市)



タイビン火力発電所
(ベトナム国 タイビン省)



大成スクエアハノイ
(ベトナム国 ハノイ市)



シグマ社施工

ソクチャン7洋上風力発電所
(ベトナム国 ソクチャン省)



ミカヅキスパ&ホテルリゾート
(ベトナム国 ダナン市)



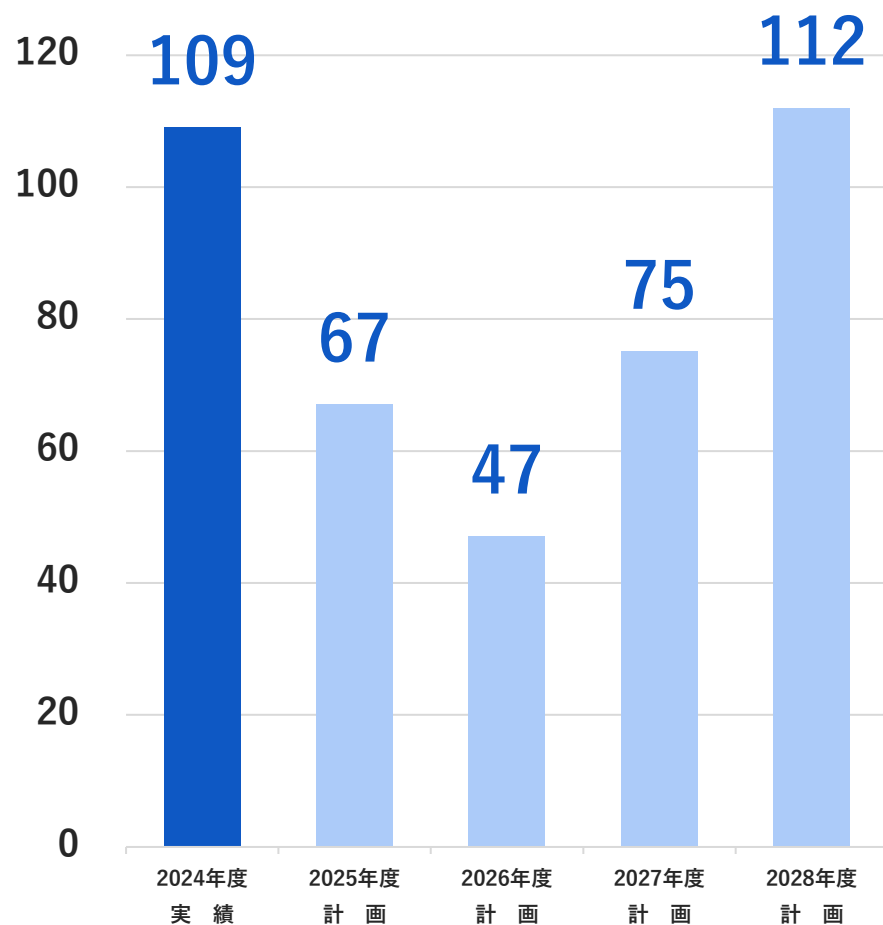
フラミンゴ カットバ ビーチリゾート
(ベトナム国 ハイフォン市)



再エネ関連工事の売上計画

(主な工事：屋内配線・送電・発電電・土木建築)

(億円)



◆ 市場の動向

- 三菱商事などのコンソーシアムが公募で獲得した3海域からコスト上昇などを理由に、撤退を表明したため他の海域を含め全般的に事業の継続性が懸念
- 国が洋上風力発電を再エネの主たる柱に位置付けていることから、事業性を確保できるよう制度を見直したうえで早急に再公募を実施することとしている

■ 施工体制の拡充・強化

- ✓ 2023年に「再生可能エネルギー事業本部」を設置

■ 新規事業への挑戦

- ✓ 再エネと親和性の高い蓄電池設置工事への参入

受注拡大



2050年
カーボンニュートラル

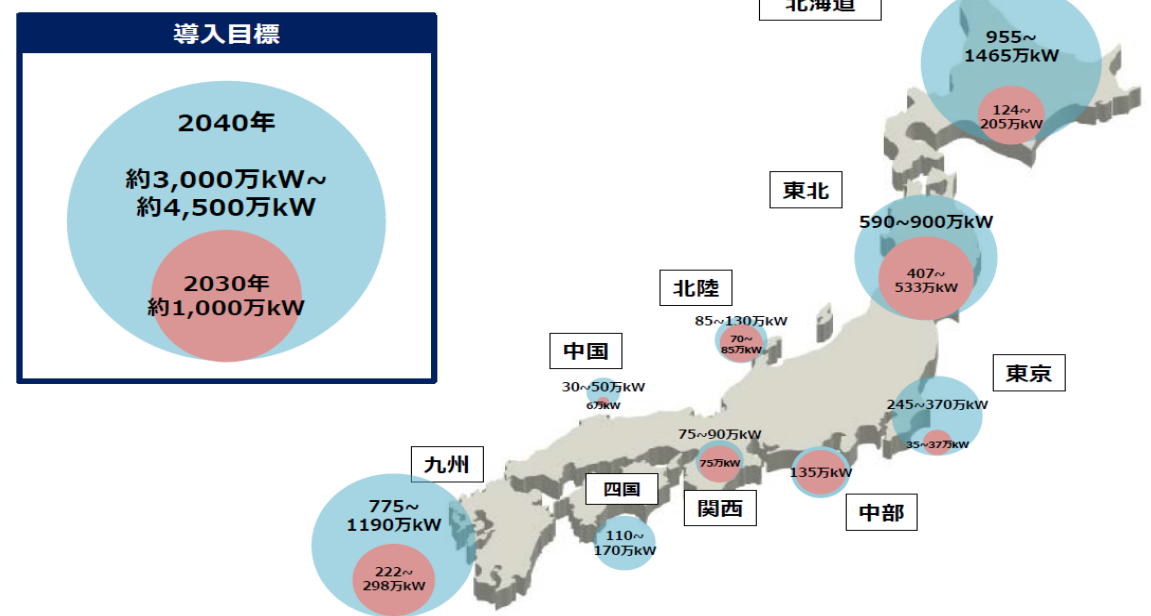
- ✓ 引き続き成長分野として受注拡大に取り組む
- ✓ 着工延期や物価上昇の影響等を注視

(6) 再エネ関連工事 (洋上風力発電の導入)

- 事業基盤である東北が洋上風力の適地であると示され、高い導入目標値が掲げられている
 - ✓ 東北の導入目標値：2040年までに**590~900万kW**
- 地元企業としての「地の利」を活かした優位性
 - ✓ **約70か所**の直営事業所に加え、グループ会社**13社**、協力会社**約420社**のネットワーク
 - ⇒ 設計・施工から保守・管理まで、長期的に一貫して対応可能

◆ 国が示す洋上風力発電導入目標

【参考】エリア別の導入イメージ



再エネ関連工事
20年以上の実績

受注拡大

(出所) 経済産業省 資源エネルギー庁 洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会
「洋上風力産業ビジョン (第1次) 概要 [2020年12月15日] 7頁」

(6) 再エネ関連工事 (基幹送電網整備)

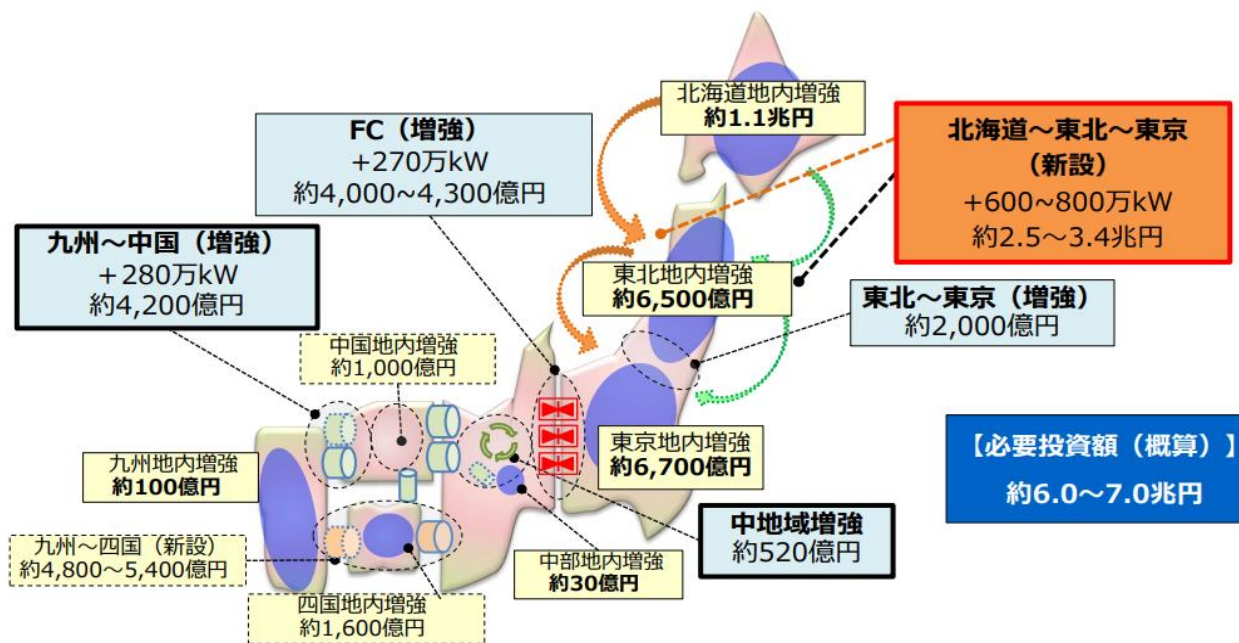
■ 基幹送電網整備工事の受注拡大

✓ 2050年カーボンニュートラルを見据えた国の送電網整備計画において、約6兆円から7兆円の投資が見込まれている

⇒ 東北地内では約 **6,500億円**、東北～東京では約 **2,000億円**の投資

✓ 東北に確固たる事業基盤を持つ当社にとって、**継続的な受注機会**

◆ 国が示す送電網増強案



当社が施工に携わる
宮城丸森開閉所新設工事 (宮城県)

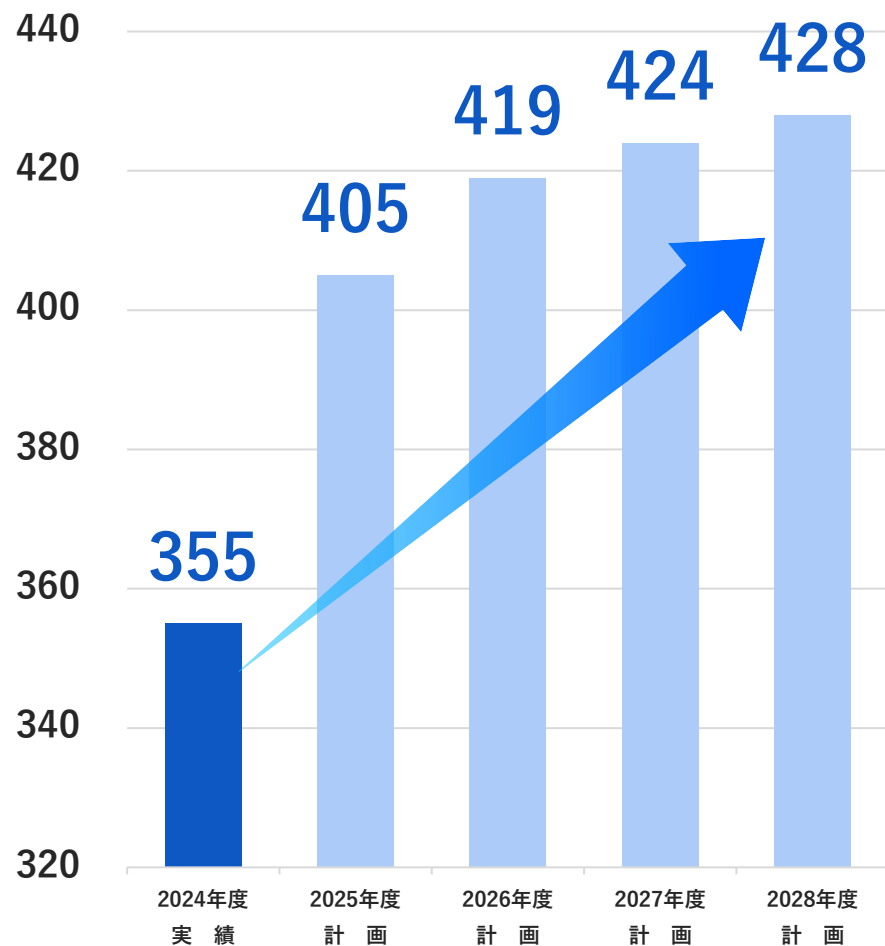
(出所) 経済産業省 資源エネルギー庁

「今後の再生可能エネルギー政策について」[2024年5月29日] 17頁

リニューアル工事の売上計画

(主な工事：屋内配線・空調管)

(億円)



■ 収益性の向上

- ✓ リニューアル工事は、収益性が高い傾向
- ✓ お客様の更新時期に提案を行うことで、確実な受注を狙う

■ 東北・新潟における受注の維持・拡大

- ✓ 人口減少が進む東北・新潟においては、将来的に新築物件の需要が低下する可能性
- ✓ 既存顧客との関係性を高め、リニューアル工事の受注拡大をはかる

■ 省エネ設備の需要増加

- ✓ 脱炭素社会の実現に向け、省エネ・創エネ設備の需要が増加
- ✓ ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）化などCO₂の削減に向けた設備の提案強化

収益拡大

(8) DXの推進による収益拡大

■ 3つのテーマを軸にDXを推進し、現場負担の軽減や業務効率化
⇒ 競争力強化をはかり、収益拡大につなげる

1. タブレット/スマホ利用拡大

現場向けチャットツール導入



社外メンバーともチャットで
コミュニケーション

今日の搬入は15時に変更です

本人

協1

了解です

協2

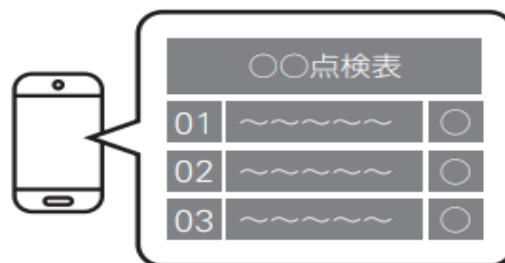
OK

効果

現場での指示出し時間の削減、業務内容のタイムリーかつ確実な伝達により業務効率が大きく向上しています。

2. 最新デジタル技術の活用

現場帳票のデジタル化



効果

紙書類に関わる作業時間の削減、現場内での円滑な情報共有、および記録精度の向上により、業務の効率化が図られています。

3. 業務プロセスの最適化を前提としたペーパーレス化

外注契約の電子化



効果

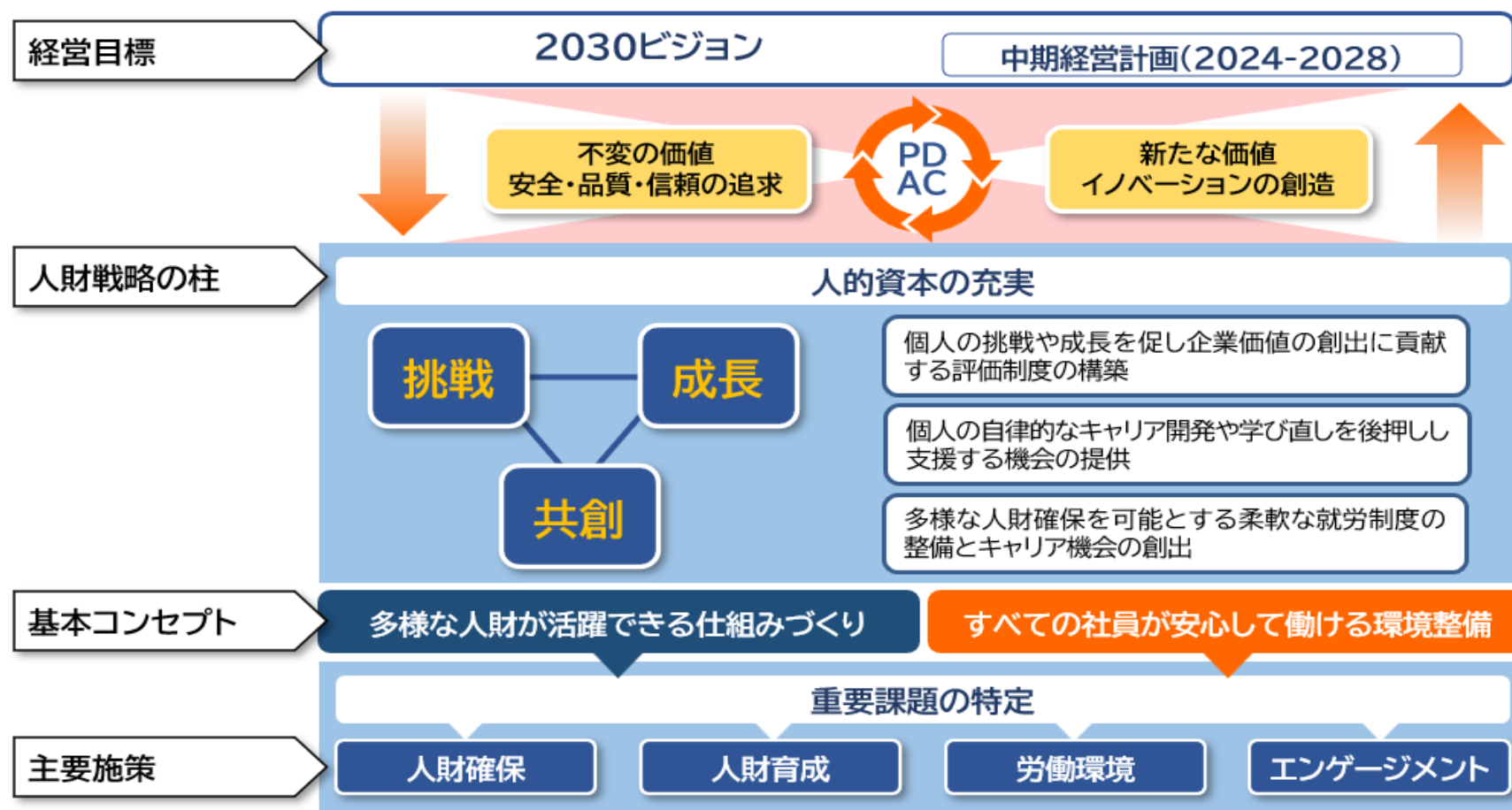
契約書や請求書のやり取りにかかる時間が短縮され、印刷費・印紙代・郵送費などのコスト削減を実現。契約業務全体の効率化が図られています。

- 人的資本の充実をはかるため、2024年10月に「ユアテック人財戦略」を策定

⇒ 多様な人財が活躍できる仕組みづくり、すべての社員が安心して働ける環境整備

- 「人財確保」「人財育成」「労働環境」「エンゲージメント」の4つの主要施策のもと、人財力強化をはかる

人財戦略の全体像



- 「人財確保」に関する新たな制度を導入し、採用競争力を強化
- 新卒・経験者採用に加え、定年延長や新たな再雇用制度の導入によるシニア層の活躍

「人財確保」に関する新たな制度

1. 「奨学金代理返還支援制度」の導入

- 奨学金を返還する社員への生活支援、経済的・精神的負担の軽減（2021年度以降に入社した社員が対象）
返済開始から最長10年、月額1万5千円
（最大**180万円**）まで支援

2. 「ジョブ・リターン制度」の拡充

- 2017年度に導入した同制度の利用条件を**大幅に緩和**
（退職理由、当社での勤続年数、離職期間などは問わない）

3. 「定年延長」および「新・再雇用制度」の導入

- 2025年度から定年年齢を60歳から**65歳**に引き上げ
- 役割や職務内容などに応じて働き方をコース化
- 定年延長に伴い、**最長70歳**までの雇用を可能にする
「新・再雇用制度」を導入

※1・2は2024年度から導入

営業・施工系要員の増員予定数

➢ 5年間で約**350名**の増員を予定

営業・技術系要員

屋内配線 **92名増**

空調管 **67名増**

営業 **19名増**

情報通信 **34名増**

配電 **34名増**

送電 **36名増**

発電 **25名増**

土木建築 **22名増**

再エネ **22名増**

注力事業・成長市場

- 屋内配線・空調管工事の一括受注
- 海外工事
- リニューアル工事

- Beyond5G等モバイル関連工事

- 高経年化設備対策工事

- 再エネ関連工事
- 基幹送電網整備工事

- 再エネ関連工事

(11) 人財育成

■ 成長を支える人財の育成

- ⇒ 技術継承の拠点として、300人規模の研修施設「人財育成センター」を完備
- ⇒ 同センター内に「安全啓発センター」を開設し、危険への感受性を高める教育を継続実施

人財育成センター



『技術継承の拠点』



ユアテックブランド

安全確保

信 頼

品質向上

安全啓発センター



『安全文化の定着』



(12) サステナビリティへの取り組み

■ 当社グループは、サステナビリティの推進を優先的に取り組むべき経営上の重要課題と位置付け、「ユアテックグループサステナビリティ方針」のもと、事業を通じて地域や社会が直面する課題の解決に努め、未来世代にわたるステークホルダーとともに、社会の持続的発展と中長期的な企業価値の向上を目指す。

マテリアリティ		主要課題	関連するSDGs
E 環境	カーボンニュートラルへの挑戦	- 事業における温室効果ガスの排出抑制 - お客さまへの省エネ提案や再生可能エネルギー関連工事の拡大	  
	地球環境の保全	- 循環型社会の形成 - 生物多様性の保全	    
S 社会	レジリエントな地域社会や社会インフラの構築	- 強靱で持続可能な街づくりへの寄与 - 大規模災害への対応	    
	海外インフラへの貢献	進出国を中心とした社会インフラの整備	   
	イキイキと働く職場づくりを通じた従業員エンゲージメントの追求	- ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進 - 働きやすさ・働き甲斐・生産性の向上 - 人財の育成と技術継承 - 健康経営の推進	    
	人権の尊重	- 労働安全の確保 - 差別・ハラスメントの防止 - 様々なステークホルダーの人権尊重	    
G ガバナンス	健全で透明性のある企業経営	- 健全な経営基盤の強化 - 企業倫理・法令遵守の徹底 - 情報セキュリティの確保 - ステークホルダーとの双方向コミュニケーションの充実 - 施工品質の追求 - リスクの特定と管理・対応	  

05 ご参考

(1) 「ユアテック統合報告書 2025」を発行

■ 2025年10月31日に統合報告書を発行

⇒ 本年4月に就任した新社長の心境や抱負、中期経営計画の達成に向けた経営方針、今後の戦略などを説明

⇒ 今般、数値目標の見直しを行った中期経営計画の進捗、財務戦略および人財戦略、各本部の取り組みを説明

[統合報告書](#) | [IR情報](#) | [ユアテック 東北電力グループ](#) (yurtec.co.jp)



価値創造ストーリー 中期経営計画の進捗	
基本戦略とその主要施策	
1 グループ大での「安全・品質・信頼」の追求	● 能力強化を含むグループ一体となった安全文化のさらなる定着と安全文化・施工管理の充実・強化による、死・重傷・重大火災の撲滅 ● 基本ルールの遵守、作業前・中・後の確認の徹底による安全確保 ● 新技術の導入と品質管理手法の高度化等による施工品質の向上
2 東北・新潟のお客さまとの信頼関係維持・強化をベースとした事業環境変化への対応	● 本部・部門およびグループ全体でのさらなる連携強化による取組力の発揮 ● 顧客満足・空調工事と合わせた増設工事の受注拡大 ● リニューアル工事の進展およびアプロード方法の最適化による受注拡大 ● ZEH化や再生可能エネルギー設備等、CO ₂ 削減に向けた技術開発による受注拡大 ● 高度化設備工事の新たな受注と基幹システム工事の需要増加 ● 調査・設計・施工・保守のワンストップサービスの強化 ● 一般・住宅向け営業の強化と職人としての原価低減の推進 ● 材料調達部門の関与領域拡大による原価低減の推進 ● アウトソーシング等の活用による業務効率化、原価低減の拡大 ● 事業環境の変化に対応する機動力ある組織体制の追求 ● 他社との協業による施工体制強化 ● 基本的な業務見直し、DXの取り組み加速および新技術を活用した効率化、生産性向上 ● 情報システム部門の高度化によるグループ大の業務効率化
3 成長分野への展開加速によるさらなる事業規模の拡大	● 東北・新潟以外のエリア開拓の強化による受注および収益拡大 ● Beyond 5G等モバイル関連工事の受注拡大 ● 東北電力との連携による「スマート社会実用事業」等関連工事の獲得 ● 不動産事業やPFI事業等、建設業とのシナジーが見込まれる新規事業分野への開拓 ● 時代に適合した専門性を活かせる新たな工事領域への開拓 ● 海外インフラ工事の受注拡大 ● 海外インフラ工事の受注拡大 ● 海外インフラ工事の受注拡大
4 魅力ある職場環境の構築と人材育成の強化	● 社員工資・福利厚生などの人事制度改善 ● 多様な働き方と働きがいのある職場環境の構築 ● 心身の健康づくりと組織活性化を目的とした健康経営の推進 ● 成長分野への展開加速も見据えた人材確保の推進 ● 若手社員への早期能力化、各年代のスキルアップに向けた取り組みおよびベテラン社員による現場・技術・技能継承の推進 ● 資格取得への支援による技術力の確保 ● グループ会社・協力会社の人材確保および施工体制強化への支援
5 サステナビリティ経営の実践による経営基盤の強化	● 事業所ZEH化、社会車EV化等、カーボンニュートラルに向けた取り組みの推進 ● 大規模自然災害等への危機管理対応力の強化 ● 透明・適切なコミュニケーション等によるステークホルダーとの信頼関係 ● リスク管理の徹底によるコーポレートガバナンスの強化 ● 風通しの良い職場環境の醸成による企業価値・法令遵守の徹底
事業ポートフォリオ	
事業ポートフォリオの概要にあたり、創業以来の事業エリアである東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として、主要な事業分野・エリアにおける事業規模・成長性等を勘案し「東北・新潟以外」、「海外事業」、「再エネ関連工事」、「リニューアール工事」の4事業を重点事業としています。	
事業ポートフォリオ	
事業ポートフォリオの概要にあたり、創業以来の事業エリアである東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として、主要な事業分野・エリアにおける事業規模・成長性等を勘案し「東北・新潟以外」、「海外事業」、「再エネ関連工事」、「リニューアール工事」の4事業を重点事業としています。	
事業ポートフォリオ	
事業ポートフォリオの概要にあたり、創業以来の事業エリアである東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として、主要な事業分野・エリアにおける事業規模・成長性等を勘案し「東北・新潟以外」、「海外事業」、「再エネ関連工事」、「リニューアール工事」の4事業を重点事業としています。	

(2) 基本情報

(2025年9月末現在)

会社名 株式会社ユアテック

設立 1944年10月

所在地 宮城県仙台市

業種 建設業（設備工事業）

従業員 3,917名

連結子会社 16社（うち海外2社）

資本金 78億390万円

市場 東京証券取引所 プライム市場

証券コード 1934



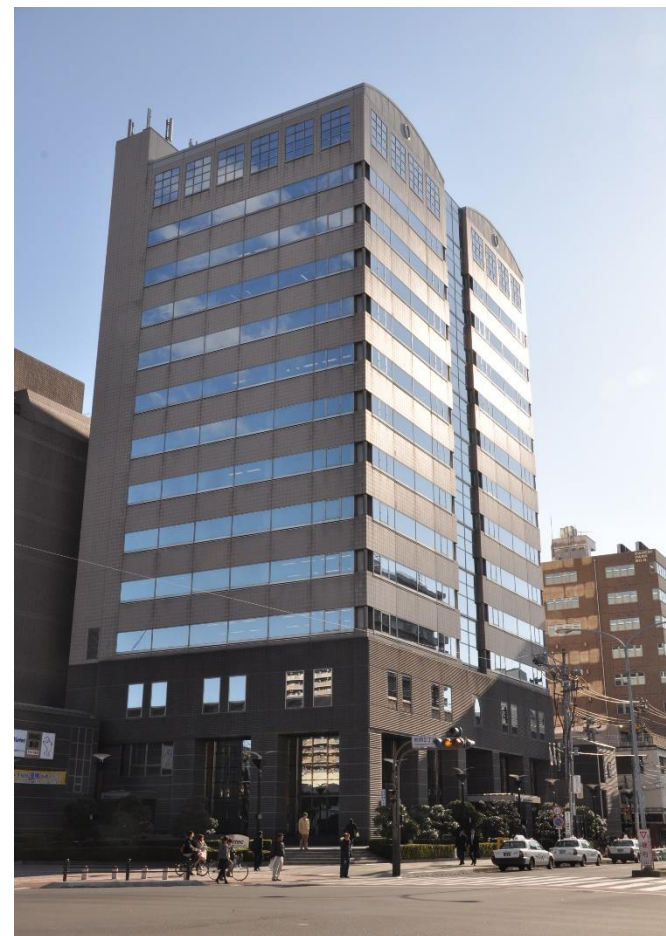
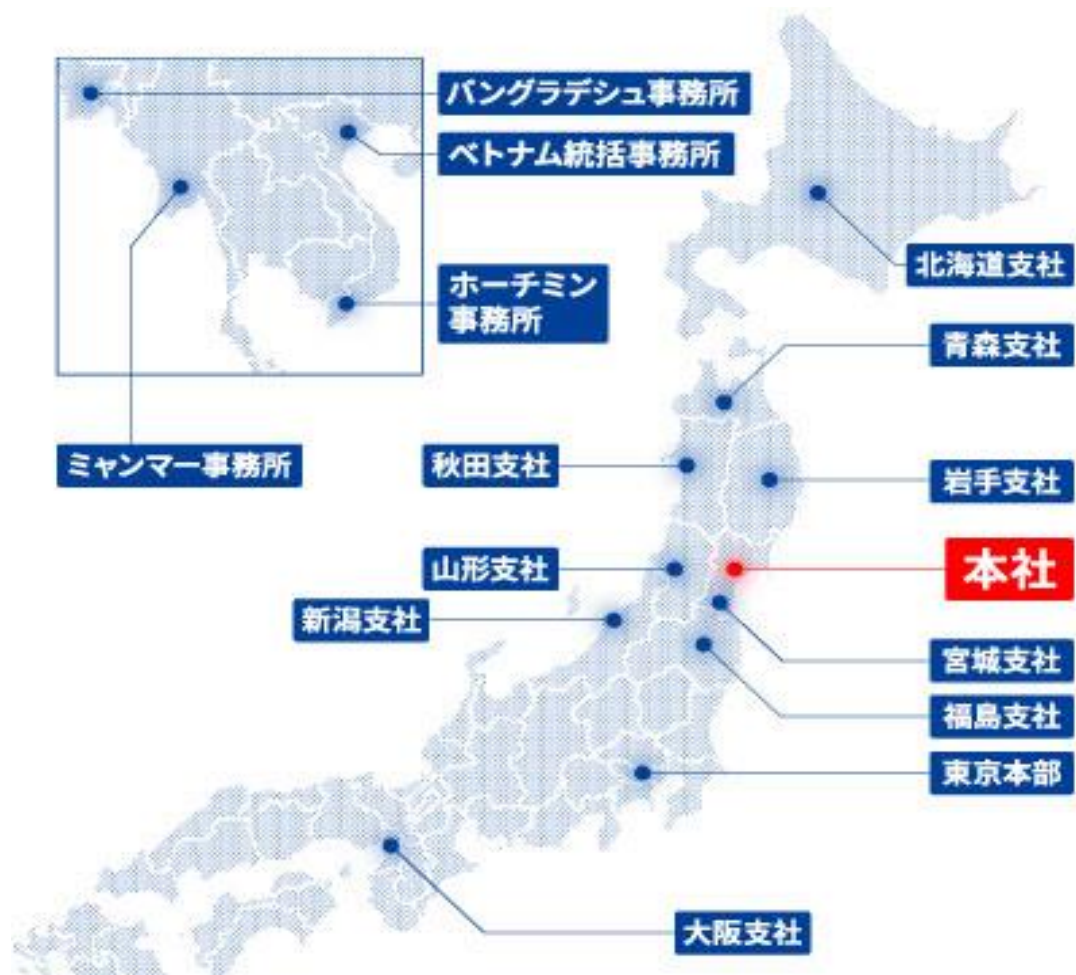
取締役社長 社長執行役員 小林 郁見
(本日の説明者)

－ 株式メモ －

決算日	3月31日
定時株主総会	6月27日
期末配当金基準日	3月31日
中間配当金基準日	9月30日
発行済株式総数	69,191,462株
株主総数	9,238名
大株主	東北電力株式会社（持株比率39.20%）

(3) 営業エリア

- 東北と新潟県を中心に関東圏・北海道・大阪府と国内約80か所に事業所を配置
海外3か国（ベトナム、ミャンマー、バングラデシュ）に事業所を展開
- アフリカ、東南アジアなどにおいては、ODA案件に参画



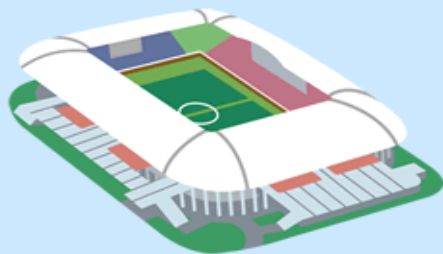
本社ビル 宮城県仙台市(仙台駅東口)

(4) 事業展開

■ 総合設備エンジニアリング企業として、多岐にわたる工事を施工

主に一般得意先工事
(ゼネコン、官公庁、一般企業 等)

屋内配線



空調管



情報通信



再生可能エネルギー



主に東北電力グループ工事
(東北電力、東北電力ネットワーク)

配電線



送電



発電電



土木建築



(5) 一般得意先工事

屋内配線工事

日常生活の場を快適に、
便利に、そして安全に
使用できる電気設備を
施工



空調管工事

空気環境を良好に維持
する空気調和設備、ト
イレや給水をはじめと
する給排水衛生設備等
を施工



情報通信工事

インターネットや携帯
電話等の生活に欠かせ
ない情報通信インフラ
設備を施工



再生可能 エネルギー工事

風力や太陽光などの再
生可能エネルギー発電
設備を施工



(6) 東北電力グループ工事

配電線工事

発電した電気を全ての建物までお届けするための配電設備を施工



送電工事

発電所でつくられた電気を変電所まで運ぶ送電線路を施工



発電変電工事

電気を生み出す発電所、電力流通の拠点となる大型変電所に関する工事を施工



土木建築工事

無電柱化工事など各種電力設備の土木建築に係る工事を施工



(7) ユアテック企業グループ

連結子会社 計16社

得意先

当社

工事施工

設備工事業

株式会社ユートス

株式会社ユアテックサービス

株式会社ユアテック宮城サービス

株式会社テクス福島

株式会社ユアテック配電テクノ

株式会社ユアテック関東サービス

空調企業株式会社

YURTEC VIETNAM CO.,LTD.

SIGMA ENGINEERING JSC

工事用機械・車両等のリース

リース事業

株式会社ニューリース

廃棄物処理

廃棄物処理業

グリーンリサイクル株式会社

電気事業

株式会社ユアソーラー富谷

株式会社ユアソーラー保原

株式会社ユアソーラー蔵王

警備・不動産管理

警備業・不動産業

株式会社トークス

電力の販売

製造業

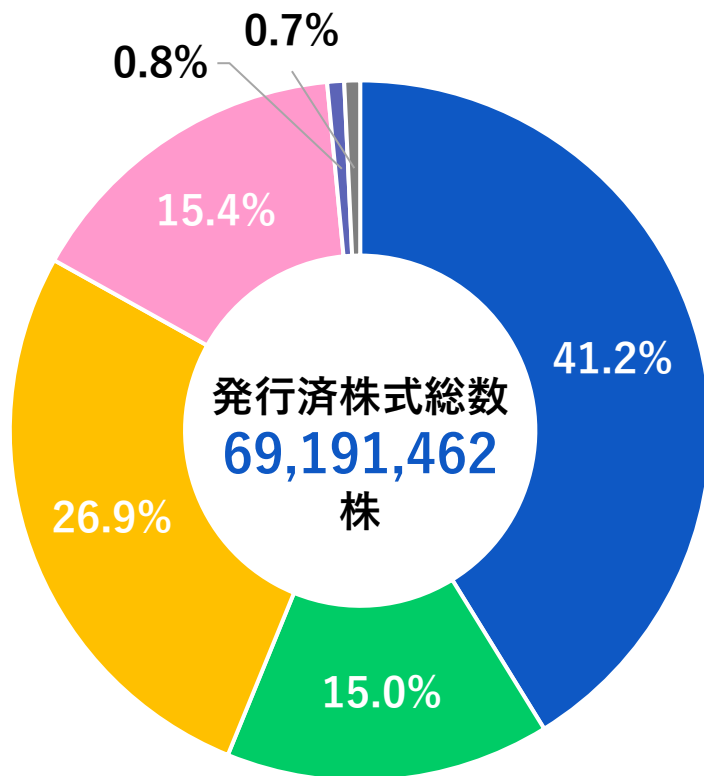
株式会社アクアクララ東北

ミネラルウォーターの製造・販売

(8) 株式の状況

(2025年 9 月末現在)

所有者別株式比率



- 国内法人
- 個人・団体
- 金融商品取引業者
- 金融機関
- 外国法人等
- その他

順位	大株主	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
1	東北電力(株)	26,915	39.18
2	ユアテック従業員持株会	5,000	7.28
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,809	7.00
4	(株)日本カストディ銀行 (信託口)	1,512	2.20
5	日本生命保険相互会社	1,381	2.01
6	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,000	1.46
7	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	970	1.41
8	(株)七十七銀行	942	1.37
9	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	910	1.33
10	BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	600	0.87

(注1) 所有者別株式比率のグラフにおいて、自己株式は、「その他」に含めております。

(注2) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 (504,018株) を控除し、計算しております。自己株式は、上記大株主から除外しております。

企業理念

ユアテックは
お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、
社会の発展に貢献します。



将来の見通しに関するご注意事項

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【当社ウェブサイト（IR情報）】

<https://www.yurtec.co.jp/ir/>



【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社ユアテック

宮城県仙台市宮城野区榴岡4-1-1

TEL：022-296-2111（代表）

担当：総務部株式グループ



仙台市が所有し、プロサッカーチームベガルタ仙台のホームスタジアムとなっているスタジアムのネーミングライツを2006年3月1日に取得し、名称を「ユアテックスタジアム仙台（略称：ユアスタ仙台）」としております。